

# 北海道議会時報

第29卷 第1号

特集 昭和51年第4回定例道議会



北海道議会事務局

北海道議会時報第29卷 第1号(昭和51年第4回定例道議会)

(表紙写真説明)

## エゾリス

**齧歯目・リス科。**ヨーロッパ、シベリア、アジア北部の森林地帯に分布し、北海道に生息するエゾリスはその亜種である。毛の色は夏と冬とで若干異なり、冬毛は背面が明るい薄茶色で、耳の先端には長い房毛がある。夏は濃色となり赤茶色、耳の房毛は消失する。体下面はいずれも純白。

針葉樹林を好み、昼行性普通樹上に棲む。特に早朝、活発に活動し、地面に降りていることが多い。巣に樹洞や枝上に、小さな枯れ枝や木の皮で橢円形を作り、其中はその中に寝ている。食物は松類の実、種実、芽、草、キノコなどである。秋になるとドングリなどを巣にたくわえ、冬の食糧とする。木登りがうまく、枝から枝へと数メートルも跳躍するが、泳ぎもきわめて巧みである。年に1~2回1腹2~5仔を産む。冬眠はしない。

(写真提供一道磐旭川方面本部 山田良造氏)  
(文 有沢 浩氏)

.....第1号もくじ.....

第4回定例道議会

概要	1
本会議	3
提出案件	9
意見書	11
請願・陳情	13

委員会の動き

議会運営委員会	17
常任委員会	20
特別委員会	24
総合開発調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	
決算特別委員会	

会合

全国都道府県議会議長会	31
-------------	----

資料

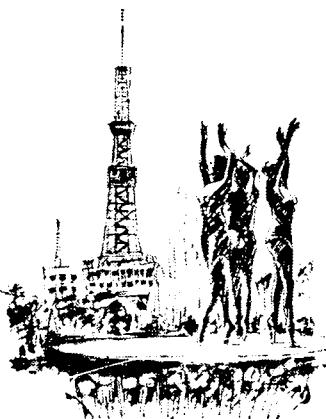
第34回衆議院議員総選挙結果	32
第4回定例道議会において議決を経た 条例の公布調	44

12月のメモ

# 議会日誌

## ▶12月

2日	議会運営委員会 (第4回定例会を12月11日に招集する旨を告示。)	本会議 (代表質問<3人>)
9日	総合開発調査特別委員会	本会議 (一般質問<5人>、追加提案説明、予算・決算特別委員会設置)
10日	議会運営、各常任、公害対策特別、冷害対策特別各委員会	予算特別、決算特別各委員会 (正副委員長互選、予算第1、第2分科会設置)
11日	(第4回定例会閉会) 議会運営委員会 本会議 (会期決定<12日間>、提案説明)	予算第1、第2各分科会 (正副委員長互選)
14日	議会運営委員会 本会議 (代表質問<1人>)	予算第1、第2各分科会 (各部所管審査)
15日	議会運営委員会 本会議 (代表質問<1人>)	議会運営、議会運営効率化小、各常任、総合開発調査特別、北方領土対策特別、決算特別各委員会、委員長会議
16日	議会運営委員会 本会議	予算特別委員会 (意見調整) 予算第1、第2各分科会 (各部所管審査)
17日	議会運営委員会	本会議 (各委員長報告、議案等可決、選挙管理委員及び同補充員選挙、意見案2件可決) (第4回定例会閉会)



# 第4回定例道議会

## 漁業専管水域200海里、新長期計画、不況問題等を論議

►知事、議員等特別職の給料、報酬引上げ可決◀

### 概要

- ① 12月11日招集された第4回定例会は、まず、会期を12月22日までの12日間と決定し、冷害対策関係経費を中心に、当面措置を要する経費、国庫支出金の確定に伴う経費等の昭和51年度各会計補正予算及びこれに関連する議案が上程され、知事の提案説明後、議案調査のため13日、1日間を休会した。
- ② 休会あけの14日、代表質問に入ったが、主任制度化に関する教育長及び教育委員長の答弁をめぐって議事が中断、翌15日更に質問を継続したが、再度中断、与野党及び理事者間において精力的に意見調整が行われた結果、17日に再開し、教育長及び教育委員長の補足答弁により、本問題に終止符を打って、代表質問を継続、翌18日には一般質問に入り、同日終了し、道職員及び知事等特別職の給料、報酬引上げに係る予算案及び条例案を追加提案の後、31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置のうえ、議案を各委員会に付託し各委員会における付託議案審査のため12月20日から21日まで2日間休会した。
- ③ 代表質問、一般質問において論議された主なる問題は、綱記蔚正、総選挙結果の受けとめ方、汚職関連業者の指名停止、52年度道財政の見通しと重要施策の考え方等道政執行の基本姿勢、本道経済の現状認識と今後の見通し及び冬季間の景気対策並びに今後の景気浮揚の方針、200海里に伴う本道経済への影響、不況克服の道独自の施策、物価情勢に対する認識と対処方針等経済問題、新計画主要指標の算出根拠、地域別構想の性格及び位置づけ、青東開発の位置づけ、道都圈計画及び国土利用計画との関連、2本建て開発論の是非、経済情勢の変化と重化学工業開発の関連等新長期計画と開発問題、低成長下における福祉行政の取組み姿勢、福祉長期計画の各種施設の目標達成見通し等福祉問題、事業分野確保の見解及び法制定の要請、建設業者の受注機会の拡大、冷害の影響を受けた中小企業に対する金融対策、倒産関連資金融資枠拡大、中小企業税制の改善に対する見解、大規模店舗法の対象基準引下げ、零細小規模金融対策、制度融資等に係る金融機関への指導等中小企業問題、新規学卒者の就職対策と高学歴社会に対する見解、不況下の雇用対策、雇用基金制度の創設、中高年齢者就職問題の基本方針と当面の対策、出稼労働者援護の具体的対策及び公共事業の冬期施行の増大、雇用保険給付日数の改定、賃金支払い確保法の運用状況及び資金貸付基金制度の創設、白ろう病における休業補償給付水準の改善、職業病専門家会議の設置、新年度予算における白ろう病対策等労働問題、寒地農業確立の取組み方、酪農近代化計画実現の具体策、減田政策に対する見解、有機質土壤への改良及び有機農業の研究並びに試験研究予算に対する基本的考え方、外国産品種の導入、気象データの適切利用、改良普及指導体制の再検討、農科大学の設置等農業・冷害対策問題、林産業振興基金の創設、外機輸入に係る体制整備、道産材の質的変化に対応する技術革新の具体策等林業問題、200海里専管水域に係る世界の大勢の受けとめ方及び対処方針、沿岸漁業振興諸施策の大幅拡充、周辺漁業資源の総合的調査・開発及び沿岸海域の汚染対策、第6次漁港整備計画への取組み姿勢等漁業問題、北炭再建のための国への要請と道の取組み方針、産炭地工業団地に対する取組み方針等石炭・産炭地問題、電力危機に対する認識と今後の対処方針、原子力の位置づけと道の準備態勢、岩内原発中止の考え方、原発の安全性等電力問題、過疎対策等緊急措置法の適用期限延長、交通確保のための新施策実施、医療従事者の確保及び救急・休日・夜間医療対策等過疎地域問題、主任制度化に係る交渉再開における確認事項に対する考え方、交渉打切りの理由、制度化による教育効果、市町村立学校の主任制度化促進の決意等教育問題、人口・産業の大都市集中化傾向と地方都市整備の基本的な考え方、地方都市づくりの政策的誘導、青少年教育施設の整備等地方都市に

に関する諸問題、婦人への職業指導・訓練対策と労務管理面における改善指導、ボランティア活動参加促進策等婦人問題、人事委員会の使命、自治省次官通達と給与勧告の関連、委員選任における基本的考え方等人事委員会制度の問題、法改正に伴う設備資金融資制度の改善及び期限延長の措置等消防法に係る問題等である。

- ④ **予算特別委員会**は、12月18日設置され、正副委員長の互選を行い、2分科を設置のうえ、20日から補正予算に対する各部所管の審議に入り、22日までの3日間に延べ24人の質問が行われ、22日には、各分科委員長報告を行い、知事に対する総括質疑はなく、直ちに意見調整に入ったが意見の一一致をみるに至らず、社会・公明・共産3党共同により、各直轄事業負担金の削除を骨子とする予算修正案が提出され、起立採決の結果これを否決、知事提案について、1項目の付帯意見を付し、いずれも原案のとおり可決又は承認議決とすることに決定した。
- ⑤ 最終日の12月22日は、再開後、まず、昭和51年度各会計補正予算等に関する予算特別委員長報告の後、3党共同による予算修正案について、趣旨説明、採決の結果これを否決、知事提案をいずれも委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。次に、各委員会付託案件について、起立又は簡易採決により、委員長報告のとおり原案可決、ついで、選挙管理委員及び同補充員を議長指名により即決。次に、「筋拘縮症に対する医療給付などの公費負担制度の拡大に関する要望意見案」ほか1意見案を可決。引き続き、請願・陳情について、委員会決定のとおり10件（請願9件、陳情1件）を採択と決定。次に昭和50年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件について、閉会中継続審査とすることに決定のうえ、閉会中請願・陳情審査及び事務調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあつて、開会以来12日目の12月22日、閉会した。

- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提 出 者	提出件数	議 決 の 状 況				計
		原案可決	否 決	承認議決	閉 会 中 継続審査	
知 事	45	39	—	1	1	45
議 員	3	2	1	—	—	3
計	48	41	1	1	1	48

# 本 会 議

○12月11日（土） 午前10時39分開議、宮本義勝議長、昭和51年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告（知事から提出のあった議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第6号、請願審査の結果報告、人事委員長から一般職に属する職員の給与に関する報告並びに給与改定に関する勧告、説明員の委任通知、監査並びに例月出納検査の報告、請願第149号ないし第151号並びに陳情第10号及び第11号の関係委員会付託、請願第67号、第75号及び第101号の委員会付託の取消し、本日の会議録署名議員）の後、議長から、11月13日付けで、西村慎一議員の辞職を許可した旨並びに元道議会議員渡辺照平氏の逝去（8月25日）について弔意を表した旨を報告。

ついで、日程第2会期決定の件を議題とし、今期定期会の会期を12月11日から22日までの12日間と決定。

次に、日程第3議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

ついで、議案調査のための休会についてはかり、異議なく12月13日は休会（12月14日は休日）、12月14日再開することを決定して、午前10時54分散会。

○12月14日（火） 午前10時31分開議、諸般の報告（請願第107号の取下げ、本日の会議録署名議員）の後、日程第1議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問に入り、

中田 繁夫議員（社会）から、①知事の政治姿勢に関し、総選挙の結果の受け止め方、主体性ある政治姿勢のあり方と公約実現の見通し及び職員の綱紀肅正に対する具体策、

②開発問題に関し、苦東開発の必要性の有無及び建設着工の妥当性、重化学工業開発と経済情勢の変化との関連、新計画における苦東開発の位置づけ及び國の方針との関連、新計画の主要指標、地域別構想の性格と位置づけ、新計画における農業振興及び過疎対策、開発計画の2本建て論に対する所見、

③経済問題に関し、今後の本道経済の見通しと冬場の景気対策、企業の倒産防止対策について、中小企業の事業分野確保に対する見解と経営指導体制の強化策、中小建設業者の発注機会の拡大策、倒産関連資金の融資枠拡大の必要性と金融機関の担保評価に対する要請方、雇用問題について不況下における雇用対策と職業安定機関の体制整備及び雇用基金制度の創設に対する見

解、冷害対策について、金融資金に係る今後の措置、市町村の救農事業に対する財源措置、冷害地域の中小企業に対する金融対策、漁業問題について、200海里専管水域にかかる世界の大勢の受けとめ方と今後の方針及び本道経済への影響、

④人事委員会制度に関し、人事委員会の現状及びその使命に対する認識と自治省の次官通達に対する見解及び給与勧告との関連、人事委員の選任に対する考え方、

⑤教育問題に関し、主任制に係る交渉再開に当たっての確認事項に対する考え方、交渉打切りの理由とその妥当性及び総選挙の時期との関連、主任制度化による教育指導の効果に係る交渉の十全性、教育長の措置に対する教育委員長の見解とその責任及び今後の対処方針等について質問があり、知事、人事委員長、教育長及び教育委員長から答弁。議事進行の都合により午後零時27分休憩、午後1時56分再開し、中田議員から再質問、知事、教育長及び教育委員長から答弁の後、湯本芳志議員（社会）から、議事録調査のため休憩されたい旨の議事進行発言があって、午後2時48分休憩、午後4時54分再開し、本日の会議はこの程度にとどめ、延会することに決定して、午後4時55分延会。

○12月15日（水） 午後4時25分開議、諸般の報告（本日の会議録署名議員）の後、あらかじめ会議時間を延長のうえ、日程第1議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問を継続、

中田 繁夫議員（社会）から、主任制問題に関し、主任制度化による教育指導の効果に係る交渉打切りの妥当性と事前に交渉決裂を企図した疑い、教育長による交渉打切り措置と教育委員会の指揮監督権との関連、今回の事態に対する教育委員会の対応とその責任等について再々質問があり、教育長及び教育委員長から答弁の後、湯本芳志議員（社会）から、議事録精査のため休憩されたい旨の議事進行発言があって、午後5時7分休憩、午後5時54分再開し、本日の会議はこの程度にとどめ、延会することに決定して、午後5時55分延会。

○12月16日（木） 午後4時42分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長して、午後4時43分休憩、午後11時49分再開し、諸般の報告（本日の会議録署名議員）の後、本日の会議は日程を延期し、延会することと決定して、午後11時50分延会。

○12月17日（金） 午後1時37分開議、諸般の報告（説明員の異動通知、請願第152号ないし第154号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員）の後、日程第1議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問を継続、まず、教育長及び教育委員長から、さる15日の中田繁夫議員の質問に対する補足答弁並びに議事停滞に対する陳謝の表明の後、

**藤井 猛議員（自民）** から、①当面する緊急課題に関し、漁業専管水域200海里設定の国際動向に対処する所信、水産行政機構のあり方と専掌大臣設置の必要性及びその働きかけ、沿岸漁場整備開発事業初年度の実効性と沿岸漁業振興諸施策の大幅拡充の必要性、

②道政執行の基本姿勢に関し、本年度の重要施策の成果に対する認識と今後の方策、明年度の重要な施策の考え方、

③地方都市にかかる諸問題に関し、人口・産業の大都市集中化傾向と地方都市整備の基本的な考え方及び道内各地域における位置づけ、生活環境中心の都市施設整備の必要性とその進め方及び政策的な地方都市づくりの誘導の考え方、青少年教育施設の整備に対する今後の施策、地方都市青少年のグループ活動育成のための具体策、青少年の非行防止対策、婦人に対する職業指導・訓練に係る対策と労務管理面における改善指導、婦人のボランティア活動への参加の促進策とコミュニティづくりに係る条件整備方、

④景気浮揚対策及び中小企業対策に関し、景気浮揚に係る今後の方針、中小企業に対する経営相談及び指導強化方並びに融資枠の拡大の必要性、冷害の影響を受けた中小企業に対する金融対策、

⑤雇用対策に関し、雇用問題に対する知事の姿勢、新規学卒者に対する就職対策と高学歴社会に対する見解、季節労働者の雇用対策、

⑥農林水産業問題に関し、寒地農業の確立への取組み方、てん菜の生産振興に係る具体的な方針、酪農近代化計画の実現への取組み姿勢、明年的転作目標と米の買入れ限度数量の配分に係る国への働きかけ方、外材輸入に係る体制整備の緊要性、道産材の質的変化に対応する技術革新への具体的な方針、林産業振興のための基金創設の考え方、

⑦物価問題に関し、物価情勢に対する認識と対

処方針、年末・年始の生活必需物資の確保と価格安定への対処方、

⑧国土利用計画に関し、新長期計画と国土利用計画の関連、計画策定における市町村の意見反映への配慮方、

⑨教育問題に関し、市町村立学校の主任制の実施促進への決意等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

**工藤 啓二議員（公明）** から、①不況克服と中小企業対策に関し、本道経済の現状認識と不況克服に対する道独自の施策、中小企業省の設置及び事業活動分野調整法の制定に係る国への要請方並びに事業活動調整指導要綱の作成の必要性、中小企業に係る税制改善に対する見解、中小企業課の設置の考え方、国及び公社等の中小企業向け官公需の状況、大規模店舗法の対象基準の引下げに対する考え方、零細小規模企業への金融対策、

②石炭及び産炭地対策に関し、北炭再建案に対する評価と資金措置に係る国への働きかけ方及び道の取組み方針、幌内鉱付近の新鉱開発の必要性、空知中核工業団地計画の事業主体と基本計画の概要及び経費分担の内容並びに関連住宅団地の開発に係る地域振興整備公団との交渉状況、産炭地における工業団地に対する今後の取組み方針、

③財政問題に関し、51年度の道財政の見通し、52年度の道財政の見通しと予算編成の基本的な考え方、苦東開発第2次買収の地元民との交渉経過と買収見通し、災害復旧事業の債務負担行為を季節労働者雇用安定対策として取り上げた理由と発注時期及び労務費等について

質問があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長のうえ、議事進行の都合（答弁中に議場停電）により午後4時21分休憩、午後4時41分再開し、知事から、休憩前の工藤議員の質疑に対する補足答弁、工藤議員から再質問、知事から答弁。ついで、

**松崎 義雄議員（道政）** から、①福祉問題に関する、低成長下における福祉行政の取組み姿勢、老人医療年齢引下げ及び母子家庭医療費の公費負担制度に対する具体的方策、社会福祉長期計画に基づく各種施設の目標達成見通し、明年度予算編成に係る福祉村等の施設整備の実現見通し、

②中小企業対策に関する、小口特別資金及び倒産

関連資金の融資枠の十全性、冷害に伴う中小企業への金融措置の十全性、制度融資に係る金融機関等への指導方法、

③中高年齢者と季節労働者の雇用対策に関し、中高年齢者の就職問題に対する基本方針と当面の対策、雇用保険への移行に伴う季節労働者の就労形態及び求職傾向の実態把握、今冬の就労確保対策及び出がせぎ労働者援護対策の具体的方策、公共事業等の冬期施工の増大及び通年施工の拡大に対する具体策、

④過疎対策に関し、過疎地域対策緊急措置法の適用期間延長の必要性、過疎地域の国道、道道、市町村道の積極的整備に対する基本姿勢、過疎地域の交通確保に係る新たな施策の必要性、医療需要に対する施策と医師及び看護婦の確保対策並びに救急休日・夜間医療に対する対策、

⑤水産問題に関し、第6次整備計画による早期漁港整備の必要性、ヒラメの種苗生産技術の開発及びその実用化促進に対する取組み策、日本海地域に対する各種の漁業生産拡大対策の必要性、

⑥電力問題に関し、電力危機に対する認識と今後の対処方針、エネルギー問題における原子力の位置づけと道の準備体制及び共和・泊原子力発電所に対する道の対応等について

質問があり、知事から答弁があつて、午後5時55分延会。

○12月18日（土） 午前10時36分開議、諸般の報告（本日の会議録署名議員）の後、日程第1議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号を議題とし、一般質問に入り、

浅川 正敏議員（自民）から、①新開発計画に関し、基本構想案等の書類配付時期の妥当性、新計画における各主要指標の算出根拠、目標年次における道民1人当たりの純生産額及び全国平均との関係、経済水域200海里問題の新計画への影響、4ブロック構想の区分根拠、部門別実施計画及びブロック別実施計画の策定の考え方、道東圏整備計画と新計画との関係及び都市施設の分散に対する考え方、

②消防法の改正に関し、消防設備の強化に係る融資制度の改善の要請方、設置期限延長の暫定措置に対する考え方等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

青木 延男議員（社会）から、①白ろう病対策に関し、患者の実態把握の必要性、道有林に係る民営事業の事業費の積算方法、健診及び治療体制に対する具体策、職業病専門家会議の設置に対する見解、休業補償の給付水準の改善の要請方、山林労働組合協議会と副知事の交渉後の対応策、林務及び労働部長の現地調査の報告と今後の対処方針、白ろう病に係る医療機関への助成の考え、新年度予算における白ろう病対策、②季節労働者対策に関し、実態調査の方法とその受けとめ方及び就労対策、雇用保険における給付口数の改定の要請方、賃金支払い確保法の運用状況と東洋ミネラルウォーター株式会社における実態把握及び指導方針並びに資金貸付基金制度の設立の考え、

③中小企業対策に関し、悪徳商法に係る零細債権者の救済対策と現状把握及び今後の指導方針等について

質問があり、議事進行の都合により午後零時49分休憩、午後2時15分再開、浅川正敏議員の発言取消しの申し出を異議なく許可の後、知事から休憩前の青木議員の質疑に対する答弁、青木議員から再質問（2回）、知事から答弁。ついで、

舟山 広治議員（社会）から、①冷害対策に関し、「構造冷害」の意味、機械化、労働力の老齢化等農業基盤に対する現状認識、農外収入による農家経済の実態把握及び見解、減反政策に対する見解及び作付け転換指導に伴う責任、中小家畜の政策的導入等有機質土壤への改良、品質重視の指導体制のあり方、輪作体系確立の方針、農業改良普及指導体制の再検討、農科大学の設置、試験研究予算に対する基本的考え方及び有機農業の研究、外国産品種の導入と専門家の海外派遣、気象データーの適切利用、既往農地の有効活用と農地の30%拡大の再検討等、②漁業専管水域200海里宣言に関し、漁業実績確保の具体的方策、沿岸漁業振興対策としての周辺漁業資源の総合的調査及び海岸、海域の開発と汚染対策等について

質問があり、議事進行の都合により午後3時34分休憩、午後3時53分再開し、知事から、休憩前の舟山議員の質問に対する答弁、舟山議員から再質問、知事から答弁。ついで、

牧野 唯司議員（公明）から、①冷害対策に関し、冷害総合対策会議の設置についての考

え、積極的な土づくりの必要性、農業普及指導体制の整備と研修の充実、

②漁業問題に関し、諸外国の経済水域 200 海里設定に伴う本道漁業への影響についての把握内容、政府に対する強力な要請方、ソ連漁船による漁具等の被害に伴う救済措置について国への要請方、第 5 次漁港整備計画の進捗率と 6 次計画に対する取組み姿勢、

③土木行政に関し、道路整備計画及び河川整備計画の強力な推進の必要性、急傾斜地危険区域の指定拡大と崩壊防止事業の積極的な推進、

④住宅行政に関し、狭小、老朽公営住宅の建てかえ、居住環境の整備改善の必要性、

⑤岩内原発に関し、原発の安全性と道の基本姿勢等について

質問があり、知事から答弁、牧野議員から再質問、知事から答弁。ついで、

**本間 喜代人議員（共産）**から、①知事の政治姿勢に関し、道財政の現状認識、特別職の報酬減額の中止の妥当性、機関委任事務の超過負担についての実態調査結果、52年度予算編成方針と道民生活の安定、福祉、教育の充実についての配慮の欠如、乳児及び老人医療費無料化の対象年齢の拡大についての方針、自治体の汚職に関連した業者の指名停止の考え方、

②岩内原発に関し、原発計画に対する基本姿勢と中止する考え方、

③過疎問題に関し、利尻島における灯油備蓄タンク建設助成に係る予算減額の妥当性、東利尻町の燃料費助成に対する道の指導と自治権の侵害の疑い、離島航路の住民運賃割引き補助負担の町村転嫁の中止、テレビ難視聴解消の補助事業創設の考え方、

④寒冷地対策に関し、寒冷地対策調査のためのプロジェクトチームの設置に対する所見、市街地における排雪及び歩道除雪対策の積極的な取組み方、国の補助の引上げについて要請の必要性、道営団地の地域暖房料金値上げに伴う対処策と特別軽減措置の検討方、季節労働者の失業給付一時金の90日支給の復活について国への強力な要請の考え方、通年雇用奨励金の増額、生活資金の貸付けについての検討方、

⑤教育問題に関し、非常勤講師及び宿日直代行員の待遇改善に対する所見等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、本間議員から再質問（2回）、知事から答弁。ついで、日程第1の議事を中止し、追加日程議案第 22 号ないし第 39 号を議題とし、知事から提案説明。

次に、日程第1にあわせ、追加日程を議題とし、議事を継続して、通告の質疑並びに一般質問を終結。ついで、牧野唯司議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって異議なくそのことに決定し、次の委員を議長指名（配付の名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第13号、第22号ないし第36号及び報告第1号は予算特別委員会に、報告第2号は決算特別委員会に付託した。

#### ○予算特別委員

伊藤 武一（公 明）	浅川 正敏（自 民）
岩田 徳弥（自 民）	高田 忠雄（道 政）
松崎 義雄（道 政）	大場 信吾（自 民）
川口 常人（自 民）	北村 義和（自 民）
佐藤 静雄（自 民）	高木 繁光（自 民）
中崎 昭一（自 民）	岡本栄太郎（社 会）
渋谷 澄夫（社 会）	工藤 啓二（公 明）
川崎 守（共 産）	保格 博夫（社 会）
熊谷 克治（社 会）	新沼 浩（自 民）
林 勝（自 民）	平野 明彦（自 民）
和田 勝之（自 民）	工藤万砂美（自 民）
高木 正明（自 民）	藤井 猛（自 民）
若狭 靖（自 民）	東 典俊（自 民）
阿部恵三男（自 民）	星野 健三（社 会）
山家 勇（社 会）	奥野 一雄（社 会）
影山 豊（社 会）	

#### ○決算特別委員会

伊藤 武一（公 明）	一野坪 勉（社 会）
青山 正男（自 民）	石山 直行（自 民）
佐々木利昭（自 民）	佐藤 静雄（自 民）
高木 繁光（自 民）	寺崎 政朝（自 民）
岩崎 守男（社 会）	牧野 唯司（公 明）
舟山 広治（社 会）	中田 繁夫（社 会）
古川 靖晃（自 民）	伊藤 知則（自 民）
大平 秀雄（自 民）	小野 秀夫（道 政）
村本 三郎（道 政）	小沢 栄吉（自 民）
吉田 繁雄（自 民）	吉田 政一（自 民）
本間喜代人（共 産）	笠島 保（社 会）
小堀 秀次（社 会）	原 清重（社 会）

田村子政太郎（自民） 佐藤 幹夫（自 民）  
奈良 敬藏（自 民）

次に、議案第14号、第16号、第18号、第37号及び第38号は総務委員会に、議案第19号は厚生委員会に、議案第20号及び第21号は建設委員会にそれぞれ付託。

次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく12月20日から21日まで2日間休会（19日は休日）し、22日再開することを決定して、午後6時47分散会。 .

○12月22日（水） 午後4時30分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時31分休憩、午後9時44分再開し、諸般の報告（予算及び決算特別委員会正副委員長の当選報告、議案及び陳情審査の結果報告、議案第1号に関する修正動議の提出、議員から提出のあった意見案第1号及び第2号、人事委員長から議案第33号ないし第39号に関する意見書の提出、請願第155号及び第156号の関係委員会付託、報告第2号並びに請願・陳情の閉会中継続審査の申し出、閉会中事務継続調査の申し出、本日の会議録署名議員）の後、日程第1議案第1号ないし第13号、第22号ないし第36号及び報告第1号を議題とし、星野健三予算特別委員長（社会）から、委員会における審査の経過と結果について報告。ついで、中田繁夫議員（社会）ほか35人から提出の議案第1号に関する修正案について趣旨説明の後、直ちに採決に入り、まず、議案第1号に関する修正案を問題とし、起立による採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。次に、議案第1号に関する修正案に係る原案部分を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第1号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、残余の議案第2号ないし第13号、第22号ないし第36号及び報告第1号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり議案については原案可決、報告については承認議決。

ついで、日程第2議案第14号ないし第21号及び第37号ないし第39号を議題とし、作田政次総務委員長（自民）から議案第14号、第16号、第18号、第37号及び第38号について、野中富雄商工労働委員長（社会）から議案第15号について、笠島保文教林務委員長（社会）から議案第17号及び第39号について、高橋正四郎厚生委員長（自民）から議案第19号について、田村子政太郎建設委員長（自民）から議案第20号及び第21号についてそれぞれ委員会における審査の経過及び結果について報告の後、直ちに採決に入り、まず、議案第18号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第37号を問題とし、

異議なく委員長報告のとおり原案可決（この間公明、共産退席）。ついで、残余の議案第14号ないし第17号、第19号ないし第21号、第38号及び第39号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第3選挙管理委員及び同補充員の選挙に入り、選挙の方法は、指名推選の方法によることとし、議長から次のとおり指名し、当選を決定。なお、補充員の委員補充の順位は、指名の順位によることに決定。

#### 北海道選挙管理委員 同補充員

奥野 善造	畠野 スミ
笠井 幸衛	川合 正男
高木 勇	小松 義男
山川 力	小林 勇

次に、日程第4意見案第1号及び第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり可決。

次に、日程第5請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも異議なく委員会決定（採択10件）のとおり決定。

次に、閉会中報告第2号継続審査の件について、異議なく、決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件について、異議なく、各常任委員長並びに総合開発調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は事務調査に付することに決定して、今期定期会に付議された案件は、報告第2号を除きすべて議了。宮本義勝議長から閉会のあいさつがあつて、午後10時13分閉会。

#### 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申しあげます。

御承知のとおり、本委員会は、12月18日設置され、昭和51年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案29件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、速やかに審査を行うこととし、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして、協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式により、これを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、直ちに分科正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長岡本栄太郎君（社会）、副委員長新沼浩君（自民）、第2分科会は、委員長北村義和君（自民）、副委員長渋谷澄夫君（社会）を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、20日から各部所管の審査に入り、22日をもって、いっさいの質疑を終了し、本日の委員会において、各分科委員長よ

り、分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、本年の冷害に対する諸対策に要する経費のほか、リンゴ腐乱病緊急防除対策等、当面措置を要する経費、事業の確定に伴う経費及び人事委員会からの勧告に伴う道職員等の給与改定経費などでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ、222億2,900万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元配付の報告書（別紙省略）により御承知願いたいと存じます。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号につきましては、ついに意見の一一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、保格博夫君ほか9人から修正案が提出され、採決の結果、少数をもって否決せられ、したがいまして、議案第1号は、原案可決、残余の案件につきましては、全会一致、議案第2号ないし第13号及び第22号ないし第36号は、原案可決、報告第1号は、承認議決と決定いたしました次第であります。

なお、議案第1号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

なお、議案第33号ないし第36号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1 今回の特別給の改定については、民間の動向を考慮し、可及的速やかに従前の月数に回復するよう努力すべきである。  
との付帯意見を付されたいとの動議が提出され、全会一致、これを決定いたした次第であります。

なお、質疑の過程におきまして、  
1 昇給制度は、職員の勤労意欲の高揚、生活水準の確保向上等を図るためのものであり、これが延伸回復措置は、道財政の実情を踏まえて検討されるべきものである。  
との意見があった次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申しあげたものであります、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第であります、その御苦勞に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもちまして、私の報告を終わります。

第4回定例道議会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
12. 11	1	昭和51年度北海道一般会計補正予算(第6号)	予算特別	12. 22	原案可決
同	2	昭和51年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	3	昭和51年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	4	昭和51年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	5	昭和51年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	昭和51年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	7	昭和51年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	8	昭和51年度北海道大麻畠地開発事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	9	昭和51年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	10	昭和51年度北海道病院事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	11	昭和51年度北海道有林野事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	12	昭和51年度北海道北広島畠地開発事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	13	昭和51年度北海道電気事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	14	北海道恩給条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	15	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	16	北海道収入証紙条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	17	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	18	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金の関する件	総務	同	同
同	19	石狩東部広域水道企業団規約の一部改正に関する件	厚生	同	同
同	20	北海道道の路線の認定及び変更に関する件	建設	同	同
同	21	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	同	同	同
12. 18	22	昭和51年度北海道一般会計補正予算(第7号)	予算特別	同	同
同	23	昭和51年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	24	昭和51年度北海道大麻畠地開発事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	25	昭和51年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	26	昭和51年度北海道病院事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	27	昭和51年度北海道有林野事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	28	昭和51年度北海道北広島畠地開発事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	29	昭和51年度北海道工業畠地開発事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	30	昭和51年度北海道電気事業会計補正予算(第4号)	同	同	同
同	31	昭和51年度北海道工業用水道事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	32	昭和51年度北海道有料道路事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	33	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
12. 18	34	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	12. 22	原案可決
同	35	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	38	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	39	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同

## 報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
12. 11	1	専決処分報告につき承認を求める件〔昭和51年度北海道補正予算に関する件11月2日専決処分〕	予算特別	12. 22	承認議決
同	2	昭和50年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別		継続審査
同	3	昭和50年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			報告のみ
同	4	昭和50年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	5	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更に関する件（昭和50年7月24日承認を得た報告第6号に係るもの）11月30日専決処分〕			同
同	6	専決処分報告の件〔損害賠償の額の決定11月26日3件、11月29日5件専決処分〕			同

## 議員から提出のあった案件

### 意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 22	1	筋拘縮症に対する医療給付などの公費負担制度の拡大に関する要望意見書	高橋正四郎ほか 10人	12. 22	原案可決
同	2	200海里漁業専管水域設定に関する要望意見書	松浦義信ほか 12人	同	同

### 修 正 動 議

提出月日	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 22	議案第1号（昭和51年度北海道一般会計補正予算（第6号））に関する修正動議	中田繁夫ほか 35人	12. 22	否決

# 意見書

## 意見案第1号

(高橋正四郎君ほか10人提出)  
(12月22日原案可決)

### 筋拘縮症に対する医療給付などの公費負担制度の拡大に関する要望意見書

筋拘縮症によって医療を必要とする患児は、本道において400名を超えてい。

これらの医療費については児童福祉法に基づいて給付されているが、給付に制限があり、また、患児の治療に伴う負担の増が大きいので、筋拘縮症の患児が安心して必要な医療を受けられるようにするために、次のとおり所要の措置を講ぜられるよう要望する。

#### 記

- 1 育成医療給付に要する費用の徴収制度を緩和するとともに、自己負担に係る経費の軽減を図ること。
- 2 手術後の傷跡、ケロイド等形成術の費用を、育成医療給付の対象とすること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年　　月　　日

北海道議会議長 宮本 義勝

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣  
衆議院議長、参議院議長 } 各通（国会には、請願書として提出する。）

## 意見案第2号

(松浦義信君ほか12人提出)  
(12月22日原案可決)

### 200海里漁業専管水域設定に関する要望意見書

漁業をめぐる昨今の国際情勢をみると、国連海洋法会議の結果を待つことなく、各国の一方的措置により経済水域200海里の先取りが行なわれている現状は、甚だ遺憾なことである。

しかしながら、世界のすう勢は最早米国など海洋主要国の動向にみられるように、予想をはるかにこえて急速に200海里新海洋時代に突入したものといわざるを得ない状況にある。

なかでも、この度のソ連最高会議幹部会合の布告によって、北洋に大きく依存している北海道の水産業は、かってない重大な局面に立され、水産食糧確保のうえからも由々しき問題であり、関連産業に与える影響も、また憂慮されるところである。

よって、国におかれでは、かかる事態の急激な変動に鑑み、水産業をわが国の食糧産業として位置づけし、新海洋時代に対応し得る諸対策を早急に講ぜられるよう、次の事項について強く要望する。

#### 記

- 1 高度な立場からの強力な漁業外交を早期に展開すること。
- 2 関係国の200海里設定に即応して、わが国においても、ただちに対応措置がなされるよう万全を期すること。
- 3 領海12海里を即時設定すること。
- 4 北方領土における漁業専管水域の取り扱いについては、わが国固有の領土であるという基本的立場に立ち、これらの既往の漁業権益を確保すること。
- 5 沿岸漁業振興対策等ポスト200海里対策の積極的推進を図ること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年　　月　　日

北海道議会議長 宮本 義勝

内閣総理大臣、外務大臣、農林大臣  
衆議院議長、参議院議長 } 各通（国会には、請願書として提出する。）



## 請　願・陳　情

① 今期定例会において各常任・特別委員会に付託された請願、陳情は次のとおりである。

### 陳　情

文書表番号	件	名	請　願　者	付　託　委　員　会	審　査　の　結　果
149	室蘭港を流通港として機能強化のため動物検疫所の設置並びに食飼糧用穀類の備蓄基地設置の件	室蘭市長 長谷川正治ほか4人		農　務	継続審査
150	室蘭港を流通港湾として機能強化のための交通体系確立の件	室蘭市長 長谷川正治ほか4人		建　設	同
151	豚直接検定の実施に関する件	北農中央会会長 早坂正吉ほか2人		農　務	同
152	真駒内地区暖房料金の値上げ反対に関する件	真駒内地区暖房料金の値上げ反対委員会 代表 浜野俊英		建　設	同
153	教員採用に関する件	道教育大五分校学生自治会連絡会議 代表 大須賀峰敬		文教林務	同
154	広島町立共栄小中学校の道立養護学校への移管に関する件	富ヶ岡学園父母の会代表 稲見昇		同	同

### 陳　情

文書表番号	件	名	陳　情　者	付　託　委　員　会	審　査　の　結　果
10	豊平川河川敷地占用許可のとりやめ及び同敷地内碎石工場の移転促進に関する件	札幌市南区石山86-13 青樹町内会環境を守る会 事務局長 田島茂		建　設	継続審査
11	道立帯広高等職業訓練校の寄宿舎移転新築促進の件	北海道帯広高等職業訓練校同窓会 会長 加藤春治ほか2人		商工労働	採　択

② 継続審査中のものであって、今期定例会において採否の決定があったもの。

### 請　願

文書表番号	件	名	付託委員会	審査の結果
84	自動車関係諸税に関する件		総　務	議決不要
91	自家用自動車関係諸税増税反対に関する件		同	同
92	自動車関係諸税増税反対に関する件		同	同
101	横断歩道及び信号機設置を求める件		同	取下げる
102	自家用自動車関係諸税を増徴しないよう求める件		同	議決不要
107	灯油備蓄施設設置に対する援助の件		同	取下げる
13	白樺通り道路拡巾の件		建　設	採　択
81	ペベルイ川の改修など富良野地方の治山、治水対策の推進に関する件		農地開発	同
40	留萌学区（留萌市、増毛町、小平町）高等学校普通科間口増に関する件		文教林務	同
51	登別市に道立高校新設の件		同	同
52	登別高校の間口の増設に関する件		同	同
66	石狩町に道立高等学校新設の件		同	同
67	天使女子短期大学増改築及び設備援助に関する件		同	取下げる

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
82	ペベルイ川の改修など富良野地方の治山、治水対策の推進に関する件	文教林務	採択
89	道立登別高等学校の間口増、体育館の新設並びに道立高等学校の新設に関する件	同	同
129	道立高等学校の新設に関する件	同	同

③ 更に継続審査にされるもの。

### 請願

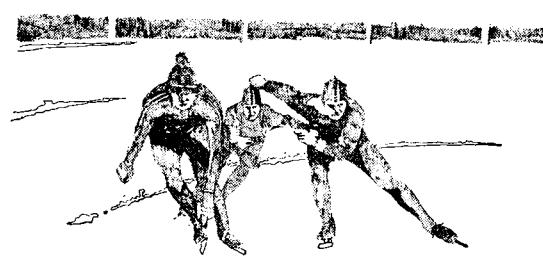
文書表番号	件名	付託委員会
10	追分機関区縮少による過疎化防止に関する件	総務
25	北海道電力㈱伊達火力発電所燃料輸送用パイプライン敷設計画の撤回を求める件	同
26	交番設置に関する件	同
27	家庭用灯油の値上げに反対の件	同
50	灯・重油の離島価格を解消するための緊急対策として燃料油の海上輸送運賃助成を求める件	同
56	藤野地区に警察官駐在所設置に関する件	同
57	伊達火発パイプラインを市街化区域の崎守町市街地の中央を通さないことを求める件	同
70	灯・重油の離島価格を解消するための緊急対策として海上輸送運賃助成を求める件	同
77	北海道電力㈱伊達火力発電所パイプライン工事の早期着工と完成促進に関する件	同
111	室蘭工業大学の拡充に関する件	同
121	国鉄運賃等公共料金値上げ反対に関する件	同
123	国鉄運賃の値上げ反対に関する件	同
134	千歳警察署庁舎建替えに関する件	同
18	地域医療センター病院指定の件	厚生
34	生活保護基準改善に関する件	同
35	へき地医療センター設置の件	同
46	スモン対策に関する件	同
49	家庭用灯油値上げに反対の件	同
59	インフレ、不況に伴ない低所得者学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
60	インフレ、不況に伴ない低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	同
108	医療費の全面無料化に関する件	同
127	社会保険等診療報酬の概算払いに関する件	同
135	千歳保健所庁舎の早期改築に関する件	同
136	風疹から婦人と子どもを守る対策を要求する件	同
144	道内看護学生の修学資金貸付制度改善に関する件	同
148	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同
61	インフレ、不況に伴ない低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	商工労働
100	雇用保険法改正に関する件	同

文書表番号	件名	付託委員会
122	北海道電力の料金値上げに反対の件	商工労働
131	中小企業事業分野確保法の制定に関する件	同
147	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同
71	畠作後進地域等道費補助上おき削減の復活に関する件	農務
79	ペペルイ川の改修など富良野地方の治山、治水対策の推進に関する件	同
126	伊達火発パイプライン敷設反対の件	同
29	市街化区域編入の件	同
37	大型車輌の団地通り抜け防止のための代替道路整備の件	同
38	北区新川西町内の一帯を市街化区域編入の件	同
80	ペペルイ川の改修など富良野地方の治山治水対策の推進に関する件	同
94	北区屯田地区の市街化区域編入の件	建設
130	国土開発幹線自動車道の路線変更の件（外1件）	同
140	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
114	秋さけ漁業調整に関する件	水产
115	さけ刺網漁業の認可に関する件	同
7	釧路市に公立普通高校の新設、小学区制の回復（釧路市での総合選抜制）私立高校生への授業料補助等に関する件	文教林務
19	正規の資格をもった教員希望者の全員採用に関する件	同
30	宿日直員の待遇改善に関する件	同
41	標茶町に道立普通科高校設置に関する件	同
42	標茶町に公立普通科間口の新設促進に関する件	同
44	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
45	小樽市における全員制公立普通高校の新增設、小学区制回復、私学への大幅助成に関する件	同
58	インフレ、不況に伴ない低所得者、学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
74	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
75	苫小牧市に公立普通高校の新設、私立高校生への授業料補助並びに小学区制への回復の件	同
76	北海道浜益高等学校改築に関する件	同
93	非常勤講師の待遇改善に関する件	同
95	教員採用に関する件	同
96	学費値上げをやめさせ、父母負担の軽減をはかり、生徒、児童にゆきどいた教育を保障する件	同
103	稚内市に於ける高校普通科の間口増、学校間の格差解消、私学への大幅公費助成に関する件	同
133	教員希望者全員採用実現、教育予算大幅増に関する件	同
138	道立肢体不自由児養護学校早期設置に関する件	同
139	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
141	函館市に道立高校新設に関する件	同
142	北海道南幌高等学校道立移管に関する件	同
143	北海道旭川商業高等学校の校舎改築に関する件	同

文書表番号	件名	付託委員会
145	道立普通科高校の設置に関する件	文教林務
146	苫小牧市に公立普通科間口増、私立高校生への授業料補助、小学区制への回復等に関する件	同
21	大雪山ろく研究学園都市設置に関する件	総合開発特別
23	旧夕張鉄道跡軌道復活に関する件	同
24	網走研究学園都市建設に関する件	同
31	十勝研究学園都市設置に関する件	同

### 陳 情

文書表番号	件名	付託委員会
2	温泉旅館における風俗営業（カブエー遊技場）の営業許可の件	総務
6	釧路市愛国地域の特別高圧送電線及び鉄塔撤去の件	同
7	北海道由仁保健所庁舎改築に関する件	厚生
5	早来町に道立高等学校（普通科）設置に関する件	文教林務
9	真駒内桜山の自然環境保全に関する件	同



# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○11月2日（火） 午後2時57分、議会運営委員会室において議会運営効率化小委員会を開議、午後3時49分散会、小委員長 西尾六七（自民）

- ① 決算特別委員会における総体質疑と総括質疑の性格とあり方について、藤井猛委員（自民）、中田繁夫委員（社会）、小野秀夫委員（道政）、牧野唯司委員（公明）、奥野一雄委員（社会）、松本響委員（自民）及び本間喜代人オブザーバー（共産）から意見の交換があり、次回まで検討することに決定。
- ② 企業会計決算特別委員会の構成について、松本響委員（自民）、藤井猛委員（自民）、中田繁夫委員（社会）及び本間喜代人オブザーバー（共産）から意見の交換があり、更に検討することに決定。
- ③ 先例集の編集方法と位置づけについて、配付の改正案のとおりとすることに決定。
- ④ 常任委員会及び特別委員会の改組問題について、更に検討することに決定。

○12月2日（木） 午前11時16分、議会運営委員会室において開議、午前11時31分散会、委員長 西尾 六七（自民）

- ① 委員長から、元道議會議員渡辺照平氏（函館市選出、11期ないし13期、8月25H）の逝去について報告。
- ② 委員長から、西村慎一議員（自民）について、自由民主党議員会長から11月5日付けで会派を脱会した旨の届出及び11月13日付け辞職願に対し、議長は、同日付けでこれを許可した旨並びに各派の所属議員（自民58人、社会28人、道政8人、公明6人、共産2人、計102人、欠員3人）について報告。なお、議席の変更是行なわず、空席とすることに決定。
- ③ 委員長から、議会運営効率化小委員会の審議状況について報告の後、小委員会における決定事項（別記）について、本委員会の決定事項とすることに決定。
- ④ 第4回定例会の招集期日を12月11日とすることを了承。会期は12日とすることに決定。
- ⑤ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明の後、  
本間 喜代人オブザーバー（共産）から、特別職と議員報酬の改定に係る報酬等審議会への諮問前の議会に対する連絡について  
質疑があり、総務部長から答弁。

- ⑥ 第4回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

### ▽ 第4回定例会日程

12月11日	本会議（提案説明）
12日・13日	休会
14日	本会議（代表質問）
15日・16日	同（一般質問）
17日～21日	休会（予算特別委員会審査）
22日	本会議

- ⑦ 代表質問の順位について、社会、自民、公明、道政とすることを了承。

### （別記）

#### 議会運営効率化小委員会の決定事項

○北海道議会先例集の位置づけ、編集方法等について

##### 1. 位置づけについて

道議会は、「関係法令（条例、規則を含む、以下同様とする）」、「議会運営に関する申し合せ決定事項」のほか、本会議、委員会の自主的な運用事例などによって運営されており、これらによって各般にわたる事例が生じてきている実態である。

このうち、「関係法令に基づく運営事例」は法令を根拠とした事例であり「議会運営に関する申し合せ決定事項に基づく運営事例」については、議会運営上、十分に尊重してきた事例である。

また、本会議、委員会の自主的な運用事例については、議会運営上の参考として活用されてきたものである。

以上のような従前の実態も考慮し、道議会の先例集の位置づけについては、事例集と名称を改め関係法令に基づく運営事例、議会運営に関する申し合せ決定事項に基づく運営事例及び本会議、委員会の自主的な運用事例を集録した議会運営上の参考資料として位置づけることが適当と考える。

##### 2. 事例集の編集方法について

事例集の発行に当たっては、議会運営委員会の確認を経て、事務局長を編集、発行責任者とする。

##### 3. 現行先例集の取扱いについて

現行の先例集について、更にその精度を高めること、議会運営申し合せ決定事項の改訂による訂正及び利便性の向上などの必要上から、内容を再検討の上、事例集として明年度において改訂発行することとする。

○道議会先例集改訂編集要領（略）

○12月10日（金） 午後1時10分、議会運営委員会室において開議、午後1時17分散会、委員長 西尾 六七（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 議長から、道選挙管理委員会委員及び同補充員の選

挙について報告。本件の取り扱いについて後日、協議する旨を了承。

- ③ 議案調査のため、12月13日は休会とすることに決定。
- ④ 代表質問の通告は12月11日正午まで、一般質問の通告は12月13日正午までとすることを了承。
- ⑤ 予算特別委員会について、構成は31人（自民18人、社会8人、道政2人、公明2人、共産1人）とし、2分科会（構成は各15人）を設置する。委員長は社会、副委員長は自民、第1分科会の委員長は社会、同副委員長は自民、第2分科会の委員長は自民、同副委員長は社会とすることに決定。委員名簿の提出は12月14日正午まで、設置動議の提出は公明とすることを了承。

○12月11日（土） 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後9時50分散会、委員長  
西尾 六七（自民）

- ① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

現議員の辞職許可報告

元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（12月11日から12月22日までの12日間）

日程第3 議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号

提出議案に関する知事の説明

議案調査のための休会の決定（12月13日）

○12月14日（火） 午前9時51分、議会運営委員会室において開議、午後4時50分散会、委員長  
西尾 六七（自民）

- ① 代表質問の通告（4人）について報告の後、一般質問について、通告（8人）は配付のとおりであり、順序は従来の例により取り進めることとし、進め方は、15日4人、16日4人とすることに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問4人を行ない、休会する、以上の順序により取り進めることに決定。議事進行の都合により午前9時57分休憩、午後4時41分再開。
- ③ 本会議における湯本議員の議事進行発言の取扱いについて、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○12月15日（木） 午後3時42分、議会運営委員会室にお

いて開議、午後5時42分散会、委員長  
西尾 六七（自民）

① 12月14日の本会議における湯本議員の議事進行発言の取扱いについて、総務部長から、調整の経過について説明。宮本義勝議員（自民）から、社会党議員会長から申し出のあった5月17日以降の教育委員会の開催状況等の資料提出について発言の後、湯本芳志委員（社会）及び本間喜代人オブザーバー（共産）から質疑及び意見があり、教育庁管理部長から答弁、教育委員会の会議録を提出しないことを了承。

- ② 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ③ 一般質問の順位は、配付の通告一覧表のとおりとするることを了承。

④ 本日の本会議は、代表質問の継続で、中田繁夫議員（社会）1人とすることに決定し、議事進行の都合により午後3時57分休憩、午後5時46分再開。

⑤ 本日の本会議における湯本議員の議事進行発言の取扱いについて、速記録の調整に時間がかかるので、本日はこの程度で延会することをはかり、異議なく決定。

○12月16日（木） 午後4時31分、議会運営委員会室において開議、午後11時45分散会、委員長  
西尾 六七（自民）

○ 12月15日の本会議における湯本議員の議事進行発言の取扱いについて、総務部長から、調整になお時間を要する旨の説明の後、とりあえず時間延長することをはかり、異議なく決定。議事進行の都合により午後4時34分休憩、午後11時40分再開し、中田繁夫委員（社会）、藤井猛委員（自民）、奥野一雄委員（社会）及び本間喜代人オブザーバー（共産）から質疑及び意見があり、総務部長から答弁、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することに決定。

○12月17日（金） 午後1時24分、議会運営委員会室において開議、午後1時28分散会、委員長  
西尾 六七（自民）

- ① 12月15日の本会議における湯本議員の議事進行発言の取扱いについて、教育長及び教育委員長の補足答弁から入ることに決定。
- ② 代表質問及び一般質問の今後の進め方について、17日代表質問4人、18日一般質問5人、20日一般質問3人とすることをはかり、異議なくこれを了承。
- ③ 一般質問について、木村喜八議員（道政）の質問通告の取下げ及び牧野唯司議員（公明）の通告事項の削除について、異議なく申し出のとおり決定。

○12月18日（土） 午前10時14分、議会運営委員会室において開議、午後2時5分散会、委員長

西尾 六七（自民）

- ① 一般質問通告者の取下げについて了承。
- ② 本日中に一般質問終了の場合、給与関係議案を追加提案することを了承し、午前10時16分休憩、午後1時54分再開。
- ③ 休憩前の本会議における浅川正敏議員（自民）の発言の一部取消しについて、これを許可することに決定。
- ④ 総務部長から、追加提出予定案件について説明があるって、本日、一般質問終了後追加提案することに決定。
- ⑤ 予算特別委員各分科会委員の配分について、各会派間において調整の結果、第1分科会は自民9人、社会4人、道政及び公明各1人、第2分科会は自民9人、社会3人、道政、公明及び共産各1人とすることを報告。
- ⑥ 予算及び決算特別委員名簿について、配付の名簿のとおり指名することに決定。なお、設置動議の提出は、牧野唯司議員（公明）とすることを了承。
- ⑦ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑧ 各委員会付託議案審査のための休会について、12月20日及び21日の2日間とすることに決定。
- ⑨ 再開後の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

#### ▽ 議事順序

諸般の報告

議長の発言（発言取消し申し出の許可）

日程第1 議案第1号ないし第21号、報告第1号及び第2号の議事を継続  
貸賃並びに一般質問の継続（4人）

（日程第1の議事を中止）

追加日程 議案第22号ないし第39号

追加提出議案に関する知事の説明

（日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事を継続）

（質疑終結宣言）

予算及び決算特別委員会の設置

予算及び決算特別委員の指名

議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のための休会の決定（12月20日及び21日の2日間）

○12月22日（水） 午後零時40分、議会運営委員会室において議会運営効率化小委員会を開議、午後零時48分散会、小委員長 西尾 六七（自民）

- ① 決算特別委員会の総体質疑について、今回は、従来の運営の方法を踏襲することについてばかり、異議なくそのことに決定。

- ② 常任委員会の構成については、第1回定例会中に1～2回開催することに決定。

○12月22日（水） 午後4時23分、議会運営委員会室において開議、午後9時27分散会、委員長 西尾 六七（自民）

- ① 取りあえず時間延長を行うことに決定して、午後4時24分休憩、午後7時19分再開。
- ② 決算特別委員会の運営問題に係る議会運営効率化小委員会の決定について、本委員会の決定事項とすることに決定。
- ③ 各委員会付託議案の審議状況並びに昭和50年度各会計歳入歳出決算に関する件の継続審査の決定について報告。
- ④ 中田繁夫議員（社会）ほか35人提出の議案第1号に関する修正案について、本日の本会議に上程することに決定。
- ⑤ 選挙管理委員会委員及び同補充委員の選挙について、選挙すべき委員数は各4人、選挙の方法は指名推選によることとし、議長において配付の名簿のとおり指名すること、補充委員の補充の順位は指名の順位によることに決定。
- ⑥ 意見案第1号及び第2号について、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑦ 今期定例会提出案件の処理状況について報告。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めるに決定。

#### ▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第13号、第22号ないし第36号及び報告第1号

星野健三予算特別委員長の報告

中田繁夫議員の議案第1号の修正案に関する説明

修正案を問題とし、起立採決（自民、道政反対）

議案第1号中、修正案に係る部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立採決（社会、公明、共産反対）

議案第1号中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて簡易採決

残余の議案第2号ないし第13号、第22号ないし第36号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決定することに

# 常任委員会

## 総務委員会

- について簡易採決
- 日程第2 議案第14号ないし第21号及び第37号ないし第39号  
総務、商工労働、文教林務、厚生、建設各委員長の報告  
議案第18号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立採決（社会、共産反対）  
議案第37号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて簡易採決（この間、公明、共産両党所属議員退場）  
残余の議案第14号ないし第17号、第19号ないし第21号、第38号及び第39号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて簡易採決
- 日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙  
選挙の方法は指名推選によること、及び指名の方法は議長において指名することについてそれぞれ簡易採決  
(議長において指名)  
補充員の委員補充順位を指名の順位とすることについて簡易採決
- 日程第4 意見案第1号及び第2号  
(説明及び委員会付託省略)  
いずれも原案のとおり決することについて簡易採決
- 日程第5 請願、陳情審査の件  
いずれも請願、陳情審査報告書（採択10件）のとおり決することについて簡易採決  
閉会中継続審査の件  
決算特別委員長から申し出のとおり、報告第2号を閉会中継続審査に付することについて簡易採決  
閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件  
各常任委員長並びに総合開発調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することについて簡易採決  
議長の閉会あいさつ  
閉会宣告

○12月10日（金） 午後2時20分、第5委員会室において開議、午後2時37分散会、委員長 作田 政次（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した地方行財政調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 総務部長から、石狩支庁耕地部にかかる汚職事件について陳謝。
- ③ 総務部長、開発調整部長、生活環境部長、道警総務部長から第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ④ 総務部長から、昭和50年度における北海道各会計収入歳出決算の概要について説明。
- ⑤ 人事委員会事務局長から、道職員の給与に関する報告及び勧告の概要について説明。
- ⑥ 委員長から、歳末取締状況調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。

○12月18日（土） 午後零時3分、第5委員会室において開議、午後零時10分散会、委員長 作田 政次（自民）

### 一般議事

- 総務部長から、第4回定例会追加提出議案について説明。

○12月22日（水） 午後3時55分、第5委員会室において開議、午後4時6分散会、委員長 作田 政次（自民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第14号（北海道恩給条例の一部を改正する条例案）及び議案第16号（北海道収入証紙条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長及び副出長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第18号（空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（反対社会、欠席公明）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第37号（北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案）及び議案第38号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件

に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

##### 請願

第101号 横断歩道及び信号機設置を求める件  
(取下げ)

第107号 灯油備蓄施設設置に対する援助の件  
(取下げ)

第84号 自動車関係諸税に関する件(議決不要)

第91号 自家用自動車関係諸税増徴反対に関する件  
(議決不要)

第92号 自動車関係諸税増税反対に関する件  
(議決不要)

第102号 自家用自動車関係諸税を増徴しないよう  
求める件  
(議決不要)

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### 一般議事

- 地方行財政制度対策の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

## 厚生委員会

○12月10日(金) 午後1時37分、第9委員会室において開議、午後2時散会、委員長 高橋正四郎(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、11月13日付け西村慎一委員の北海道議会議員辞職に伴う議席の変更についてははかり、異議なく着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、さきに実施した、沖縄戦没者慰靈祭参列について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 委員長から、北海道献血推進協議会委員の選出についてははかり、高橋委員長を推せんすることに決定。
- ④ 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 衛生部長から、高共丸問題の経過について説明。

○12月22日(水) 午後2時20分、第9委員会室において開議、午後2時25分散会、委員長 高橋正四郎(自民)

#### 付託案件の審査

- 議案第19号(石狩東部広域水道企業団規約の一部改正に関する件)を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任するこ

とした。

#### 一般議事

① 委員長から、筋拘縮症に対する医療給付などの公費負担制度の拡大に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なくそのことに決定。

② 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすること及び社会福祉対策の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

## 商工労働委員会

○12月10日(金) 午後1時40分、第8委員会室において開議、午後1時56分散会、委員長 野中富雄(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した家庭用灯油の価格抑制と安定供給並びに季節労働者の雇用安定及び林業労働者の振動障害(白ろう病)対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、これを了承。
- ② 商工観光部長、労働部長並びに企業局長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ③ 商工観光部長から、昭和51年冷害関係中小企業特別融資について説明。
- ④ 労働部長から、北海道職業訓練計画に関する答申の概要について説明。

○12月22日(水) 午後2時41分、第8委員会室において開議、午後2時56分散会、委員長 野中富雄(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第15号(北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案)を議題とし、労働部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

##### 陳情

第11号 道立帯広高等職業訓練校の寄宿舎移転新築促進の件  
(採択)

残余の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### 一般議事

- 委員長から、商業、鉱工業並びに観光振興対策の件ほか2件について、閉会中継続調査の扱いとすることについてははかり、異議なくそのことに決定。

## 農務委員会

○12月10日（金） 午後1時28分、第7委員会室において開議、午後零時51分散会、委員長 東典俊（自民）

### 一般議事

- ① 農務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 農務部長から、冷害対策のその後の措置状況について報告の後、

岡本 栄太郎委員（社会）から、災害対策資金の末端における適切な取扱い方について、

北村 義和委員（自民）から、米の等級別出荷状況及び規格外米の流通対策に対する考え方について

新村 源雄委員（社会）から、麦の共済制度の基準の反収の実態との相違の理由と見解及び改善の努力方について

質疑、要望及び意見があり、農務部長及び農業経済課長から答弁。

○12月22日（水） 午後2時30分、第7委員会室において開議、午後2時44分散会、委員長 東典俊（自民）

### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 農業振興対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 委員長から、昭和52年度農業関係国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 岡本 栄太郎委員（社会）から、中小農家対策に関し、育成に対する考え方、地域性を配慮したきめ細かな施策の推進方及び52年度に基本線を明確化方について

質疑、要望及び意見があり、農務部長から答弁。

## 建設委員会

○12月10日（金） 午後零時32分、第4委員会室において開議、午後2時20分散会、委員長 田苅子 政太郎（自民）

### 請願、陳情の審査

#### 請願

第13号 白樺通り道路拡幅の件

（採択）

### 一般議事

① 委員長から、さきに実施した道外及び道内の建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

③ 土木部長から、伊達パイプラインに係る道路及び河川の占用許可申請に關し説明。

④ 住宅都市部長から、ユー・アンド・アイ・マツザカの倒産に關し説明の後、

小堀 秀次委員（社会）から、会社に対する倒産前の道の行政指導、立入り調査の目的及び行政権限の内容、被害者救済の範囲と対応措置、地上物件と生活環境施設に対する処置、大洋ハウジングの業務内容、免許したことに対する責任、今後の取締りと行政指導について、

浅川 正敏委員（自民）から、団地の未整備施設に対する措置と契約不履行の実態について、

熊谷 克治委員（社会）から、街路灯・除雪費の住民負担、公共施設建設の遅れによる住民の損害、団地造成の今後のあり方について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

⑤ 合坪 正三委員（社会）から、苦小牧沖における石油試掘と港湾区域の関係、許可にあたっての道の関連部間における連絡調整及び今後の港湾建設に当つての支障等について

発言があり、土木部長から答弁。

⑥ 熊谷 克治委員（社会）から、首都圏構想と新長期計画の関連、構想の法的根拠、構想の当初の発想と時代の推移に伴う質的変化について、

浅川 正敏委員（自民）から、道都圏の地域対策と新計画の地域開発の関連性について、

松本 輝委員（自民）から、道都圏対策と過疎地域対策の比較検討について

質疑、要望及び意見があり、住宅都市部長から答弁。

○12月22日（水） 午後2時25分、第4委員会室において開議、午後2時32分散会、委員長 田苅子 政太郎（自民）

### 付託案件の審査

○ 議案第20号（北海道道の路線の認定及び変更に関する件）及び第21号（河川法に基づく1級河川の指定等についての意見に関する件）を順次議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託

されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び地方道整備促進の件はかかる件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 委員長から、昭和52年度道開発公共事業予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 農地開発委員会

○12月10日（金） 午後零時12分、第2委員会室において開議、午後1時37分散会、委員長 津川 直一（道政）

### 一般議事

- ① 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。  
② 農地開発部長から、道内調査における陳情の措置状況について説明。  
③ 委員長から、昭和52年度開発予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。  
④ 農地開発部長から、石狩支庁不祥事件について説明の後、

渋谷 澄夫委員（社会）から、業者に対する便宜供与の内容、予定価額をもらうことと便宜供与との関係、再発防止のための措置方等について、

影山 豊委員（社会）から、農協が全額出資の業者に対する指名委員会におけるチェックの内容、不祥事件を起こした業者に対する措置、下請・孫請施工の利益配分状況の調査及び点検の有無、関係業者の事件前の指名回数及び受注量に関する資料の提供方、支庁長等監督職員に対する処分の必要性等について、

石山 直行委員（自民）から、指名選考の基準の明確化の考えについて

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

○12月22日（水） 午後2時18分、第2委員会室において開議、午後2時23分散会、委員長 津川 直一（道政）

### 一般議事

- ① 農業基盤整備推進の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。  
② 委員長から、昭和52年度開発公共事業関係国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定、実施時期、派遣委員は委員長に一任す

ることとした。

## 水産委員会

○12月10日（金） 午後1時42分、第6委員会室において開議、午後1時47分散会、委員長 松浦 義信（自民）

### 一般議事

- 水産部長から、第4回定例会提出予定案件及び「北海道外国漁船被害対策本部」の設置について説明。

○12月22日（水） 午後2時21分、第6委員会室において開議、午後2時26分散会、委員長 松浦 義信（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、200海里漁業専管水域の設定に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なくそのことに決定。  
② 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び水産業振興対策の件について閉会中、継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

## 文教林務委員会

○12月10日（金） 午後1時29分、第10委員会室において開議、午後2時53分散会、委員長 笠島 保（社会）

### 請願、陳情の審査

#### 請願

- 第40号 留萌学区（留萌市、増毛町、小平町）高等学校普通科間口増に関する件 （採択）  
第51号 登別市に道立高校新設の件 （採択）  
第52号 登別高校の間口の増設に関する件 （採択）  
第66号 石狩町に道立高等学校新設の件 （採択）  
第82号 ベペルイ川の改修など富良野地方の治山治水対策の推進に関する件 （採択）  
第89号 道立登別高等学校の間口増、体育館の新設並びに道立高等学校の新設に関する件 （採択）

第129号 道立高等学校の新設に関する件 （採択）

### 一般議事

- ① 教育長及び林務部長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。  
② 保格 博夫委員（社会）から、主任制度化に関し、市町村教育委員会の学校管理規則の改正状況、施行通達における道教委と市町村教委の判断、主任手当にお

ける人事委員会及び道教委の関与の態様、地教委に対する指導内容及び教育委員会の開催状況と市町村教委への通知における判断等について質疑があり、教育長から答弁。

○12月22日（水） 午後1時52分、第10委員会室において開議、午後2時5分散会、委員長 笠島 保（社会）

#### 付託案件の審査

- 議案第17号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）及び第39号（北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することにそれぞれ決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 委員長から、請願第67号（天使女子短期大学増改築及び設備援助に関する件）及び第75号（苫小牧市に公立普通高校の新設、私立学校生への授業料補助並びに小学区制回復の件）について、取下げがあった旨を報告。
- ② 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び学校教育並びに社会教育の充実促進の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 教育長から、沼田町立浅野小学校校地除雪作業中の損傷者に対する損害賠償請求事件に係る賠償金の支払について説明。

## 特別委員会

### 北方領土対策特別委員会

○12月22日（水） 午後3時10分、第2委員会室において開議、午後3時17分散会、委員長 堀田 穀（自民）

- ① 委員長から、北方領土復帰促進に関する他府県の議決状況について報告。
- ② 委員長から、さきに実施した「北方領土返還要求のつどい」及び「北方領土展」並びに北方領土早期復帰に関する他府県への再議決要請のための委員派遣の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」及び北方領土返還要求キャラバン隊の派遣並びに「北方領土展」の開催結果について報告。
- ④ 委員長から、昭和52年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

### 公害対策特別委員会

○12月10日（金） 午後3時1分、第2委員会室において開議、午後3時9分散会、委員長 阿部 恵三男（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した道外における公害事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 生活環境部長から、第4回定例会提出予定案件及び振動規制法の施行について説明。
- ③ 生活環境部長から、栗山地区クロム汚染対策事業の実施状況について説明。

### 冷害対策特別委員会

○11月9日（火） 午前10時55分、第1委員会室において開議、午後零時50分散会、委員長 奈良 敬藏（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した冷害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 総務部長から、冷害対策救農公共事業費の専決処分について報告。
- ③ 農務部長及び商工観光部長から、冷害対策のその後の措置状況について説明の後、  
藤井 虎雄委員（社会）から、農業共済の損害評価

の精度について、

津川 直一委員（道政）から、規格外米の出荷と共済適用の場合の損得比較、共済金額と特例措置との関係について。

工藤 啓二委員（公明）から、天災資金及び自作農資金の決定前期の見通しと早期決定の要請方並びに資金枠の見通しと不足の場合の対処方法、冷害に伴う種子購入に係る農協手数料の徴収減免に対する指導の考え方等について。

本間 喜代人委員（共産）から、(1)救農土木事業に関し、対象農家の確定数及び対象範囲の条件、労賃所要見込額、道の事業の労賃割合が低い理由と30%以上になるよう努力方、就労に要する旅費支給に対する見解とバス等の配車方及び個人負担となならないよう配慮方、市町村単独救農土木事業の財源措置状況及び適債事業の範囲拡大方と対象とならない場合の措置、(2)制度資金の償還猶予の措置状況と農協に対する指導状況及び農協事務の簡素化策、(3)水稻共済の措置状況について、(4)給食費に対する国庫補助率の見通しと道の補助に対する考え方等について。

小堀 秀次委員（社会）から、西紋別地区的牧草被害の対策の考え方と道独自の対策措置方について、

渋谷 澄夫委員（社会）から、市町村の救農土木事業における単独と継続事業による財源差に対する見解等について

質疑、要望及び意見があり、総務部長、農務部長、農地開発部長及び教育庁指導部長から答弁。

- ④ 委員長から、救農土木事業実施状況等に係る道内調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

○12月10日（金） 午後3時、第1委員会室において開議、午後4時1分散会、委員長 奈良 敬蔵（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

- ② 農務部長及び商工観光部長から、冷害対策のその後の措置状況について報告の後、

村上 犒明委員（自民）から、中小企業に対する政府関係金融の利率8.9%に対する道の見解について、

渋谷 澄夫委員（社会）から、救農土木事業の対象農家の範囲と現地への指導方法等について、

本間 喜代人委員（共産）から、就学援助費に関し、今回予算化していない理由及び先の委員会の答弁との差異、市町村における道費見込みの予算化との関係等について

質疑、要望及び意見があり、商工観光部長、農務部長、農地開発部長及び教育庁振興部長から答弁。議事進行

の都合により午後3時35分休憩、午後3時59分再開。教育庁振興部長から補足答弁。

## 予算特別委員会

○12月18日（土） 午後7時5分、第1委員会室において開議、午後7時15分散会、委員長 星野 健三（社会）

### 正副委員長の互選

- ① 阿部 恵三男臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、北村義和委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、星野健三委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岡本栄太郎委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、高木正明委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 委員会の今後の運営等協議のため午後7時9分休憩、午後7時10分再開。休憩中協議の結果、まず、審査方法について、2分科会を設置して審議を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、民生部、衛生部、企業局、公安委員会、人事委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に係る総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 各分科会の委員についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

### ○第1分科委員

伊藤 武一（公明）	浅川 正敏（自民）
高田 忠雄（道政）	大場 信吾（自民）
佐藤 静雄（自民）	高木 繁光（自民）
岡本栄太郎（社会）	保格 博夫（社会）
新沼 浩（自民）	和田 勝之（自民）
高木 正明（自民）	藤井 猛（自民）
阿部恵三男（自民）	山家 勇（社会）
奥野 一雄（社会）	

### ○第2分科委員

岩田 徳弥（自民）	松崎 義雄（道政）
川口 常人（自民）	北村 義和（自民）
中崎 曜一（自民）	渋谷 澄夫（社会）
工藤 啓二（公明）	川崎 守（共産）
熊谷 克治（社会）	林 勝（自民）
平野 明彦（自民）	工藤万砂美（自民）

若狭 靖（自民） 東 典俊（自民）  
影山 豊（社会）

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名をおくこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑥ 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括して行い、ただし、一問一答方式の場合は委員長にその旨申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑦ 本委員会の運営については、正副委員長及び各分科会正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑧ 審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおり決定。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

## 第1分科会

○12月18日（土） 午後7時17分、第1委員会室において開議、午後7時27分散会、第1分科委員長 岡本 栄太郎（社会）

### 正副分科委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長には岡本栄太郎委員（社会）、分科副委員長には新沼浩委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、高木繁光委員（自民）、保格博夫委員（社会）、高田忠雄委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。

○12月20日（月） 午前10時30分、第1委員会室において開議、午後4時56分散会、第1分科委員長 岡本 栄太郎（社会）

### ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

山家 勇委員（社会）から、地方署職員の勤務環境としての老朽庁舎改築計画の内容及び計画の促進、特捜本部設置時及び平常勤務におけるマイカー使用の状況と今後の緩和方針、少年非行の実態と原因の解明及び今後の対策等について

質疑、意見及び要望があり、道警総務部長及び防犯部長から答弁があつて、公安委員会所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午前11時27分休憩、午前11時33分再開。

### ② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び民生部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。ついで、

山家 勇委員（社会）から、(1)社会福祉事業法に基づく授産施設に関し、施設運営等の現況に対する見解及び今後の助成策、機械更新における特別配慮、民間団体から助成無きの場合の対策等、(2)社会福祉長期計画に関し、「福祉を高める懇談会」の内容、関係者の意見の反映程度及び問題点浮彫りの状況、保育所入所基準の改定、無認可・季節保育所の解消、未設置市町村の解消、超過負担の解消、補助率の改定、幼稚園設置との関連、長計推進のための医療機関の協力の現況と将来展望及び協力団体との対策委員会の設置等目標年次における最大限の実現への努力方等について質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁の後、分科委員長から、本間喜代人分科委員外委員（共産）から発言取下げの申し出があった旨の報告があつて、民生部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時51分休憩、午後2時13分再開。

### ③ 生活環境部所管の質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び生活環境部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定の後、

伊藤 武一委員（公明）から、(1)振動規制法の施行に関し、振動公害の現況、規制実施の方法、測定機器等市町村への財政援助の考え方、道路交通に伴う振動対策の方針、(2)水質汚濁に関し、汚濁の現状に対する認識、阿寒湖浄化のための下水道工事促進の特別措置及び釧路海域の汚染対策並びにさけ・ますふ化事業との関係、高濃度有害物質観測地域緊急対策の方針、苫小牧川、網走湖、別途前川の浄化対策の方針、都市排水対策としての公共下水道整備のスピードアップ等について、

本間 喜代人委員（共産）から、日本ゼオライト化学工業㈱に関し、粉じん発生施設に係る申請書不受理の理由、粉じん、振動、騒音等施設設置の審査における道・町の連繋の程度及び一体性の確保、施設建設過程におけるチェックの必要性、公害行政における地域住民の意向調査の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があつて、生活環境部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時49分休憩、午後3時53分再開。

④衛生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、奥野一雄委員及び山家勇委員の質問順位の変更について報告の後、

山家 勇委員(社会)から、(1)保健所の整備に関し、施設設備等の整備所要年次及び計画の短縮並びに早期整備の決意、(2)福祉長期計画に関し、計画達成のための医療機関の協力に係る現状認識と今後の方針、医師、看護婦、作業療法士、理学療法士等医療従事者確保の方針、計画達成のための対策委員会の設置等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○12月21日(火) 午前10時29分、第1委員会室において開議、午後5時5分散会、第1分科委員長 岡本 栄太郎(社会)

①衛生部所管に対する質疑を続行、

奥野 一雄委員(社会)から、看護婦の充足対策と修学資金に関し、看護婦不足解消の見通し、退職者の多い理由と結婚後の対策、養成施設における中途退学者の実態、修学資金に係る計画の有無と貸付額の正看と准看との格差の理由及び国と道の負担割合、修学資金の性格と貸付額改定における学年進行制度及び貸付枠の妥当性、貸付額改定に係る道の方針、貸付金の返還免除に係る道内勤務を3年間とした根拠と労働基準法との関連及び一部免除規定の有無並びに返還期日の妥当性、国費による貸付制度と道外勤務に伴う返還義務との関連、看護婦養成所の実態調査方と制度改善の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて、衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午前11時34分休憩、午前11時39分再開。

②分科委員長から、本間喜代人第2分科委員(共産)の本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。

③開発調整部及び企業局所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員(社会)から、冬期対策に関し、新計画における位置づけ、冬期対策連絡会議の構成と目的、冬期対策総合体系表の活用とその成果、全国雪寒地帯対策協議会及び豪雪地帯対策審議会の内容、道内における特別豪雪地帯の指定の現状、冬期の輸送力確保に係る取組み内容、雪寒対策の総合研究所の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後零時17分休憩、午後2時32

分再開。ついで、

湯本 芳志委員(社会)から、石狩湾新港計画に関し、現在の進捗状況と計画達成時期の見通し及び国の予算措置、立地企業の張付けに対する見通し、港湾管理組合設立遅延の理由、港湾の過年度負担金の取扱い等について、

伊藤 武一委員(公明)から、(1)道東地方の霧対策に関し、51年度に関係予算が計上されない理由と道の取組み姿勢、調査継続の必要性、防霧林の指定の現況と植栽の考え方、新年度に予算計上する考え、(2)交通網の整備に関し、道内の高速自動車道の建設状況と道の取組み姿勢、石勝線の進捗状況と完成の見通し、道内の空港整備事業の概況、新千歳空港にかかる道の負担増の理由と他の第2種空港の取扱いとの不均衡を是正する考え方等について、

本間 喜代人委員(共産)から、3期計画に関し、46年以降の部門別政府投資額の推移と計画新規率、民間企業の投資資金総額、3期計画の実績と新長期計画へ移行する基本的方向等について

質疑、意見及び要求があり、開発調整部長から答弁があつて、議事進行の都合により午後4時52分休憩、午後5時再開し、開発調整部長から休憩前の本間委員の質疑に対する補足答弁の後、本間委員から要望があつて、開発調整部及び企業局所管に対する質疑を終結。

○12月22日(水) 午前10時26分、第1委員会室において開議、午後零時24分閉会、第1分科委員長 岡本栄太郎(社会)

① 総務部及び各種委員会所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員(社会)から、釧路第一高校問題に関し、52年度の生徒募集停止に関連する経過と今後の見通し、釧路地区の高校収容率の低下と道立高校設置の考え方等について、

保格 博夫委員(社会)から、道職員の給与改定に係る人事委勧告に関し、人事委員会の基本姿勢、物価上昇を勧告において考慮の有無、定期延伸の回復措置との関連及び給与改定勧告中に組み入れることの妥当性、期末手当の0.2%カットの根拠及び自治事務次官通達との関係、国会における附帯決議に対する受け止め方、寒冷地手当に灯油値上り分を考慮する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び人事委員長から答弁があつて、総務部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさ

つがあった。

## 第 2 分 科 会

○12月18日（土） 午後7時17分、第2委員会室において開議、午後7時27分散会、第2分科委員長 北村 義和（自民）

### 正副分科委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長には北村義和委員（自民）、分科副委員長には渋谷澄夫委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
- ③ 本分科会の運営については、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うこと、及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、岩田徳弥委員（自民）、熊谷克治委員（社会）、松崎義雄委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

○12月20日（月） 午前10時33分、第2委員会室において開議、午後5時46分散会、第2分科委員長 北村 義和（自民）

### ① 土木部所管に対する質疑に入り、

伊藤 武一委員（公明）から、(1)河川浄化事業に關し、その基本的考え方、要净化対策河川数、別途前川及び旧釧路川浄化の今後の取組み方、(2)自転車道整備に関し、計画の概要と現況、雄別鉄道跡地における計画進捗状況、(3)道道の諸問題に關し、道道昇格認定の基本的考え方、過去5年間の認定路線数と延長及び昇格要望の数、12月12日の老人死亡事故の経緯及び道路管理瑕疵との関連、街路灯節電の妥当性及び節電の経緯並びに解除の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があつて、土木部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午前11時34分休憩、午前11時41分再開。

### ② 住宅都市部所管及び農地開発部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、道都構想に關し、整備協議会の基本計画策定方針中策定完了項目数、想定人口数の根拠及び年齢構造並びに普通世帯規模、都市機能分散の今後の見通し、各市町村長期計画との関連、今後の取組み姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により午後零時11分休憩、午後1時45分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、(1)苫小牧市と日本電建㈱との土地交換に關し、契約書第3条に係る道との事前打合せの有無及び第3条の妥当性、(2)下請け代金問題に關し、建設省通達受理後の措置及び通達に対する認識の仕方、元請と下請との関係の監督のあり方、元請の約束手形振出しに対する見解、下請業者保護対策の必要性、住宅供給公社と部との関係及び道・公社の事業における中小業者の育成と地元優先発注の考え方及び旭岡団地における育成・優先の形骸化の事実に対する見解及び是正等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があつて、住宅都市部及び農地開発部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時46分休憩、午後2時51分再開。

### ③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、(1)化炭幌内鉱の再建に關し、「北電の協力困難」の報道の事実関係並びに北電の真意打診及び協力実現の要請方、52年度上期の4億円前払の確実性、(2)企業倒産に關し、年末から来春にかけての倒産の見通し、小口資金による対策の十全性、本年度の倒産対策の実績、融資のための手続の簡素化及び期間の短縮、歩積み・両建てに対する有効指導の有無、分野調整法の現況、道内進出大手企業の中小企業分野への進出抑制策検討の意思、(3)零細小売業に關し、今後の育成策及び不況対策、道の資金導入による協同化、チェーン化の指導、(4)ユート・アンド・アイ・マツザカの倒産に關し、現状と将来の見通し、レジャー農園に対する商法上の見解、被害商工業者対策、債権保全の努力方等について、

小野 秀夫委員（道政）から、電力の需給見通しとその対策に關し、電源立地対策協会の発足を公表しなかった理由及び会議開催回数と審議内容、岩内町議会の決議と協議会設置の関連、原発静観と自治法第2条第3項1号、20号及び第6項の精神との関連並びに20号の公共的団体における漁協組の位置及び水産振興との関連に対する見解、原発における環境モニタリング実施の根拠及び安全性に係る国への要請の内容並びに地域住民への情報提供の有無、3定の知事答弁「原子力発電に係る検討……」の意味、静観の妥当性及び解除の条件と見通し、原発の緊急性に対する見解、新長計経済成長率7%達成のための必要電源供給規模、原発運転開始の見通し、東苫小牧火発の電調審見送りの理由と石炭確保の可能性及び港湾整備の整合性との関連、55年度運転開始及び混焼の可能性並びに混焼による石炭振興と電力確保との関連に対する見解、伊達火力1号機の運転見通しと2号機の繰上げ着工・運転等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があつて、商工観光部所管に対する質疑を終結。

○12月21日（火） 午前10時31分、第2委員会室において開議、午後4時58分閉会、第2分科委員長 北村 義和（自民）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

伊藤 武一委員（公明）から、漁業専管水域200海里問題に關し、水産行政のあり方、200海里設定に伴う本道漁業への影響と漁獲実績の確保に対する具体策及び政府への働きかけに対する考え方、本道経済への影響と減船等による漁船乗組員対策、国際漁業に關する基本法の考え方、沿岸漁場整備開発及び新漁場開発の推進方針等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があつて、水産部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午前11時19分休憩、午前11時23分再開。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、白ろう病対策に關し、チェーンソー以外の伐採方法の有無、チェーンソーの改良の見通しとエンジンの開発研究の状況、チェーンソーの個人持ちに対する考え方、道の積極的な情報収集と対策の必要性等について、

川崎 守委員（共産）から、長万部町中ノ沢の災害復旧工事に關し、ブロックの金額と51年度のブロックの長さ、共同企業体の内容と労務者の作業形態、工事入札の仕組みと発注前に落札業者が判明していた事実に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があつて、林務部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時28分休憩、午後2時29分再開。

③ 農務部所管に対する質疑に入り、

藤井 虎雄委員（社会）から、(1)農業機械購入手数料に關し、農協及びホクレンの手数料引下げの指導方、(2)伊達パイプラインに關し、農地転用の事前審査の手続と農林次官通達等と違う方法をとったことに対する見解及び今後の措置等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁があつて、そのまま午後3時15分休憩、午後3時34分再開し、議事進行の都合により午後3時35分休憩、午後4時18分再開。農務部長から、休憩前の藤井委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、農地転用の事前審査手続に係る伊達農業委員会の照会に対する道の対応と農林省の考え方等について、

工藤 啓二委員（公明）から、(1)ビート耕作と農協の手数料に關し、非組合員のビート耕作に対する農協及び製糖会社による制約の事実に対する見解と独禁法及び農協法との関連並びに今後の方針、各農協における手数料の格差に対する見解並びに組合員と非組合員の格差に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があつて、農務部所管に対する質疑を終結。

○12月22日（水） 午前10時30分、第2委員会室において開議、午後零時8分閉会、第2分科委員長事故のため第2分科副委員長 渋谷 澄夫（社会）

① 教育委員所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、(1)学校事務職員に關し、業務内容、性格及び指揮命令系統の明確化、教員との給与格差に対する見解、道独自の改善の検討、(2)主任制度化に關し、新聞広告の意図、過去の事例及び今後の方針、広告時期の妥当性、(3)参考図書の一括購入及び配付の是非等について、

川崎 守委員（共産）から、(1)留守家庭家族対策、学校開放事業、都市児童健全育成事業の相関関係及び変遷経過、実施主体の協力関係、開放事業及び育成事業の拡充強化、(2)児童・生徒の就学援助に關し、申請書の提出先、民生委員の証明の必要性と義務化の回避、ボーダーライン層へのスキー・スケートの供与の実現、援助基準の解釈の仕方の配慮、(3)特殊教育に關し、情緒障害児の低就学率の理由、中学校における学級設置等就学率向上対策及び教員定数対策、通学費用援助及び補助金による政策の誘導、担当教員増加対策等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があつて、教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○12月22日（水） 午後5時25分、第1委員会室において開議、午後6時17分閉会、委員長 星野 健三（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

## 第1分科委員長報告

私は、第1分科会に付託されました議案審査の経過につきまして御報告いたします。

御承知のとおり、本分科会は、12月18日設置され、同日、正副委員長の互選を行いますとともに、付託議案の審査方法につきまして協議を行い、12月20日から12月22日までの3日間にわたり、付託されました総務部、開発調整部、生

活環境部、民生部、衛生部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員及び企業局の各所管にかかる昭和51年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案を中心に、道政各般にわたって慎重かつ熱心な質疑が行われ、12月22日をもって、各案件に対する質疑を終了した次第でしたが、各部所管における質疑の概要につきましては、別紙、お手元に配付の報告書（別紙省略）により、御承知願いたいと思います。

なお、冬期対策について、総括質疑が保留されておりまことを申し添えます。

以上、本分科会に付託されました議案審査の経過を申しあげ、私の報告を終わります。

## 第2分科委員長報告

私は、第2分科会に付託されました議案審査の経過につきまして御報告いたします。

御承知のとおり、本分科会は、12月18日設置され、同日、正副委員長の互選を行いますとともに、付託議案の審査方法等につきまして協議を行い、12月20日から12月22日までの3日間にわたり、付託されました商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会の各所管にかかる昭和51年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案を中心に、道政各般にわたって、慎重かつ熱心な質疑が行われ、12月22日をもって、各案件に対する質疑を終了した次第であります。

各部所管における質疑の概要につきましては、別紙、お手元に配付の報告書（別紙省略）により御承知願いたいと思います。

なお、原子力発電所建設に伴う道の姿勢について、総括質疑に保留されておりますことを申し添えます。

以上、本分科会に付託されました議案審査の経過を申しあげ、私の報告を終わります。

② 委員長から、吉田英治委員（社会）及び小野秀夫委員（道政）から総括質疑の取下げの申し出があった旨を報告。

③ 付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行うことを行はかり、異議なくそのことに決定。意見調整のため午後5時30分休憩、午後6時9分再開。

④ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号について、保格博夫委員（社会）ほか9人から修正動議が提出されている旨を報告の後、

議案第1号を議題とし、保格博夫委員（社会）から、社会・公明・共産3党提出に係る修正案について趣旨説明を行い、質疑並びに討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立少数（反対自民、道政）をもって否決と決定。次に、修正案に係る

原案部分を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（反対社会、公明、共産）をもって原案のとおり可決することに決定。次に、議案第1号の修正案に係る部分を除く原案部分を問題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。ついで、保格博夫委員（社会）から、議案第1号に対する修正案について少数意見を留保する旨を発言。

次に、議案第2号ないし第13号、第22号ないし第36号及び報告第1号を一括議題とし、異議なく議案については原案可決、報告については承認議決することに決定。ついで、保格博夫委員（社会）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、1項目の付帯意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって、異議なくそのことに決定。

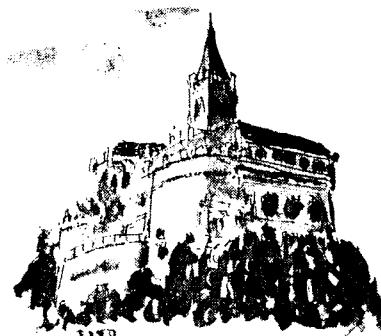
⑤ 付託案件に対する審議経過及び結果報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

⑥ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

# 会合

## 全国都道府県議会議長会

○12月27日（月） 全議会議室において役員会を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、自治省財政局長から、明年度の地方財政対策について説明の後、質疑応答があつて、協議に入り、全議事務局長から、昭和52年度地方財政対策に関する要望について説明の後、原案のとおり決定。次に、明年度政府予算編成に対する要望運動の方法について協議の結果、明年度地方財政対策については予算内示前に、その他の諸問題については予算内示後に、適宜、在京議長会を開き政府、政党に対し要望運動を行うことを決定。ついで、北海道議長から200海里漁業専管水域対策に関する緊急要望について提案があり、協議の結果、文案等を会長一任とすることに決定（この決定に基づき要望書を政府等関係方面に提出）。次に、全議事務局長から、地方6団体で構成する地方自治確立対策協議会の共同要望について報告があつて、閉会した。



# 資料

## 第34回衆議院議員総選挙結果

第1表

全国党派別当選者数

(○数字は婦人)

	計	現	前	元	新	議席率 %	前議席 %	回 選挙前 議席	47年の 当選者	参議院
自 民	① 249	195	17	2	35	48.7	55.2	265	271	自 民 125
社 会	② 123	82	8	5	28	24.1	24.0	112	118	社 会 62
公 明	55	26	10	0	19	10.8	5.9	30	29	公 明 24
民 社	29	15	3	0	11	5.7	3.9	19	19	民 社 10
共 産	② 17	14	① 0	0	③ 3	3.3	7.7	39	38	共 産 20
新自由ク	17	5	0	0	12	3.3	—	5	—	新自由ク 1
諸 派	0	0	0	0	0	0.4	0	0	2	二院ク 4
無 所 属	① 21	① 3	2	0	16	4.1	2.9	4	14	無 所 属 3
計	⑥ 511	④ 340	① 40	7	① 124	100	100	474	491	計 252

第2表

道内党派別当選者数

	当選者数					立候補者数				
	計	現	前	元	新	計	現	前	元	新
自 民	9	8	1	0	0	12	8	1	0	3
社 会	10	8	0	1	1	10	8	0	1	1
民 社	1	1	0	0	0	2	1	0	0	1
公 明	2	0	1	0	1	2	0	1	0	1
共 産	0	0	0	0	0	5	1	0	0	4
無 所 属	0	0	0	0	0	7	1	0	0	6
計	22	17	2	1	2	38	19	2	1	16

第3表

## 都道府県別党派別当選者数

都道府県	区数	定数	自民	社会	民社	公明	共産	新自由ク	諸派	無所属	立候補者数
北海道	5	22	9	10	1	2	0	0	0	0	38
青森	2	7	5	0	0	1	1	0	0	0	14
岩手	2	8	5	2	0	0	0	0	0	1	14
宮城	2	9	5	2	0	1	0	1	0	0	18
秋田	2	8	4	4	0	0	0	0	0	0	12
山形	2	8	5	3	0	0	0	0	0	0	14
福島	3	12	8	3	0	0	0	0	0	1	20
茨城	3	12	5	4	0	1	0	0	0	2	19
栃木	2	10	5	3	1	1	0	0	0	0	16
群馬	3	10	7	3	0	0	0	0	0	0	17
埼玉	5	15	7	4	0	2	0	2	0	0	28
千葉	4	16	8	3	0	2	1	0	0	2	28
東京	11	43	14	8	2	10	4	2	0	3	79
神奈川	5	19	3	5	3	3	0	5	0	0	34
新潟	4	15	7	5	1	0	0	0	0	2	30
富山	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	11
石川	2	6	5	1	0	0	0	0	0	1	11
福井	1	4	2	1	0	0	0	0	0	0	11
山梨	1	5	4	1	0	0	0	0	0	0	9
長野	4	13	8	4	0	0	0	0	0	1	26
岐阜	2	9	7	1	0	1	0	0	0	0	12
静岡	3	14	8	2	2	1	0	1	0	0	23
愛知	6	22	8	5	4	1	1	0	0	3	37
三重	2	9	5	2	1	1	0	0	0	0	13
滋賀	1	5	2	1	1	0	1	0	0	0	9
京都	2	10	2	1	2	2	2	1	0	0	16
大阪	7	26	8	3	3	7	4	1	0	0	43
兵庫	5	20	8	4	1	4	1	2	0	0	38
奈良	1	5	2	1	1	1	0	0	0	0	7
和歌	2	6	4	1	0	1	0	0	0	0	9
鳥取	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	9
島根	1	5	3	2	0	0	0	0	0	0	10
岡山	2	10	5	3	0	2	0	0	0	0	17
広島	3	12	6	3	1	1	0	1	0	0	22
山口	2	9	5	2	1	1	0	0	0	0	16
徳島	1	5	3	1	0	1	0	0	0	0	8
香川	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	10
愛媛	3	9	6	2	0	0	0	0	0	1	18
高知	1	5	2	1	0	1	1	0	0	0	7
福井	4	19	8	5	2	4	0	0	0	0	32
佐賀	1	5	4	0	0	0	0	0	0	1	10
長崎	2	9	4	2	1	1	0	1	0	0	13
熊本	2	10	6	2	0	1	0	0	0	0	15
大分	2	7	5	2	0	0	0	0	0	0	12
宮崎	2	6	2	1	1	0	0	0	0	2	12
鹿児	4	11	8	3	0	0	0	0	0	0	26
沖縄	1	5	2	1	0	1	1	0	0	0	7
合計		130	511	249	123	29	55	17	17	0	899

第4表

## 候補者別得票数

第1区 (定員5人)

(氏名の太字は当選者を示す) (比例配分による端数は除いた)

届出番号	氏名	町村名	板垣 登	地崎宇三郎	横路 孝弘	みのわ 登	斎藤 実	岸田 勝一	島本 虎三	西村 慎一	多田 光雄	高崎 愛子	有効投票
(自)	(公)	(社)	(自)	(公)	(社)	(無)	(社)	(無)	(社)	(無)	(社)	(民)	
中央区	406	406	21,503	14,149	9,757	13,370	3,455	8,177	5,051	10,246	7,525	93,639	
札北区	303	12,688	15,023	6,988	13,502	2,055	11,292	4,516	12,055	6,070	84,492		
東山区	477	14,674	17,886	8,370	15,904	2,016	12,495	3,950	13,759	6,392	95,923		
幌白石区	445	15,161	17,032	7,104	18,807	1,952	12,800	3,683	14,851	6,179	98,014		
豊平区	433	14,699	15,400	8,253	14,860	2,243	10,567	4,464	12,059	7,062	90,040		
南区	217	10,442	8,535	8,071	7,245	1,916	7,150	3,179	5,543	4,635	56,933		
西区	431	14,613	19,596	8,136	15,867	2,609	14,124	4,995	12,150	7,513	99,814		
計	2,712	103,780	107,621	56,680	99,555	16,246	76,605	29,838	80,643	45,176	618,856		
小樽市	200	5,064	7,609	21,532	12,749	1,113	23,412	11,679	14,074	3,655	101,087		
江別市	107	4,972	8,210	5,930	5,420	756	5,729	1,636	4,920	3,686	41,366		
千歳市	221	7,301	4,198	8,786	4,086	797	2,675	1,326	1,838	1,785	33,013		
恵庭市	108	4,714	3,109	5,971	2,676	663	1,695	677	1,595	811	22,019		
石狩支庁	123	7,355	6,922	5,931	5,184	589	5,224	1,709	3,871	2,228	39,136		
後志支庁	130	10,015	8,731	16,987	9,884	4,134	14,549	3,747	7,899	3,443	79,519		
合計	3,601	143,201	146,400	121,818	139,554	24,298	129,889	50,612	114,840	60,784	934,907		
市部計	3,348	125,831	130,747	98,900	124,486	19,575	110,116	45,156	103,070	55,113	816,342		
郡部計	253	17,370	15,653	22,918	15,068	4,723	19,773	5,456	11,770	5,671	118,655		
石狩支庁													
広島町	47	1,872	2,767	1,555	1,860	242	1,704	642	1,457	1,022	13,168		
石狩町	35	1,949	1,614	976	1,468	189	1,297	436	837	566	9,367		

当別町	33	1,735	1,513	2,048	888	106	1,197	518	1,216	401	9,655
新篠津村	2	943	290	568	201	10	226	44	97	85	2,466
厚田村	1	460	232	294	411	28	348	25	173	67	2,039
浜益村	5	396	506	490	356	14	452	44	91	87	2,441
石狩支庁計	123	7,355	6,922	5,931	5,184	589	5,224	1,709	3,871	2,228	39,136
後志支庁											
島牧村	2	408	159	374	295	60	349	43	213	64	1,967
寿都町	5	327	292	1,196	382	112	728	31	434	95	3,602
黒松内町	5	412	346	365	232	390	558	22	343	96	2,769
蘭越町	9	376	591	870	440	1,370	872	41	255	137	4,961
二七口村	5	260	450	705	327	140	455	83	280	123	2,808
狩村	2	332	146	660	218	134	296	110	84	50	2,032
真留寿都村	1	210	137	314	139	24	231	18	159	27	1,260
茂別町	2	358	257	720	409	216	585	39	101	124	2,811
轟京極町	10	385	273	701	261	178	592	34	84	103	2,621
俱知安町	13	1,056	1,233	2,523	1,010	609	2,255	348	845	645	10,537
共和町	2	589	688	1,159	455	140	1,007	124	344	165	4,673
内村町	23	1,224	1,189	2,099	1,643	285	1,866	372	1,837	568	11,106
泊村	6	242	154	557	307	12	229	45	347	39	1,938
神恵内村	1	287	166	127	210	22	277	69	63	42	1,264
積丹平野町	3	494	369	658	544	59	398	185	217	144	3,071
古仁木町	7	477	354	615	402	60	711	212	287	276	3,401
余市町	25	1,662	1,484	2,586	1,967	219	2,564	1,504	1,640	583	14,214
赤井川村	0	219	83	125	117	11	210	79	138	27	1,009
後志支庁計	130	10,015	8,731	16,987	9,884	4,134	14,549	3,747	7,899	3,443	79,519

## 第二区 (定員4名)

届出番号	候補者名	上草 義輝 (自)	村上 茂利 (自)	芳賀 貴 (社)	安井 吉典 (社)	川田 正則 (自)	さわだ耕一郎 (共)	西野 展先 (無)	有効投票
市町村名									
旭川市	23,874	26,904	26,919	35,081	36,397	14,203	648	164,026	
留萌市	6,577	3,648	2,922	3,462	1,432	1,534	123	19,698	
内別村	3,864	7,111	4,978	5,355	3,741	2,553	105	27,707	
稚内市	2,795	2,289	5,135	2,264	3,075	1,084	32	16,672	
士別市	2,673	2,866	4,457	3,261	4,568	1,299	89	19,213	
寄良村	2,434	1,929	3,981	2,945	3,384	1,401	79	16,153	
野幌町	12,210	14,784	18,013	17,652	18,535	4,637	294	86,125	
川上村	7,965	5,893	6,615	3,805	6,100	1,948	139	32,465	
支笏町	4,858	6,566	6,223	3,702	5,379	2,564	63	29,355	
支庁計	67,230	71,990	79,241	71,527	82,611	31,223	1,572	411,394	
支庁計	42,217	44,747	48,390	52,368	52,597	22,074	1,076	263,469	
支庁計	25,013	27,243	30,851	25,159	30,014	9,149	496	147,925	
上川支庁	692	789	965	938	937	72	9	4,262	
騰栖町	194	140	31	2,584	330	253	1	3,352	
東神楽町	985	2,268	697	816	857	322	24	5,900	
当別町	368	649	603	732	764	9	3,447		
比布町	727	674	777	447	1,106	107	19	3,857	
愛別町	677	1,020	1,637	1,358	339	372	18	5,421	
上川町	683	678	132	1,879	829	320	13	4,534	
瑛簗町	1,550	1,611	1,377	2,315	1,673	592	35	9,213	
美瑛町	1,809	1,829	1,018	1,120	2,131	333	67	8,307	
富良野町	1,170	708	876	515	1,083	181	14	4,547	
中富良野町	367	301	1,288	512	334	139	7	2,938	
南富良野町	97	205	235	185	217	59	2	998	

和	4,402	16
劍	3,529	9
朝	2,287	3
風	4,499	10
下	5,223	15
美	5,744	15
音	1,391	4
中	2,274	4
上	86,125	294

寒	300	337
潤	249	127
日	99	113
運	397	846
川	1,574	215
深	181	799
底	247	1,574
子	320	1,047
府	2,635	1,414
村	64	1,389
川	620	588
中	90	264
上	4	588
川	4	710
支	86,125	364
計	294	18,535

町	568	568
町	447	759
町	34	759
町	47	568
町	105	759
町	9	349
町	241	806
町	3,991	742
町	32	938
町	8,030	454
町	32	988
村	1,576	1,743
村	0	1,637
村	428	200
村	0	480
村	432	249
村	0	480
村	65	757
村	6	359
村	3,239	822
村	6	736
村	3,631	641
村	4	1,056
村	2,591	390
村	7	235
村	7	475
村	32,465	277
村	139	6,100
村	1,948	3,805
村	32,465	5,893
村	139	6,115
村	32,465	7,965
村	32,465	12,210

町	1,530	1,530
町	1,681	328
町	983	324
町	215	266
町	613	815
町	1,574	1,010
町	1,414	349
町	1,107	210
町	588	149
町	391	95
町	14,784	18,013
計	18,013	14,784

留萌支庁	1,012	1,858
留萌支庁	742	1,762
留萌支庁	806	759
留萌支庁	938	1,772
留萌支庁	454	1,430
留萌支庁	850	200
留萌支庁	1,743	150
留萌支庁	432	822
留萌支庁	480	375
留萌支庁	736	654
留萌支庁	1,056	651
留萌支庁	235	635
留萌支庁	475	276
留萌支庁	6,100	5,893
留萌支庁	1,948	3,805
留萌支庁	32,465	7,965
留萌支庁	32,465	12,210

宗谷支庁	392	392
宗谷支庁	1,462	1,462
宗谷支庁	471	595
宗谷支庁	522	475
宗谷支庁	226	288
宗谷支庁	1,376	1,216
宗谷支庁	743	747
宗谷支庁	17	369
宗谷支庁	159	442
宗谷支庁	455	910
宗谷支庁	226	755
宗谷支庁	12	912
宗谷支庁	139	768
宗谷支庁	4	571
宗谷支庁	181	1,439
宗谷支庁	4	286
宗谷支庁	4	6,566
宗谷支庁	2,564	4,838
宗谷支庁	63	6,223
宗谷支庁	3,702	6,379
宗谷支庁	29,355	5,379

猿払村	396	396
猿払村	471	392
猿払村	522	1,462
猿払村	13	595
猿払村	1	475
猿払村	2,671	288
猿払村	5,832	973
猿払村	17	1,005
猿払村	3,265	728
猿払村	17	526
猿払村	2,365	369
猿払村	5	497
猿払村	3,879	796
猿払村	5	476
猿払村	2,899	482
猿払村	12	755
猿払村	2,633	912
猿払村	4	768
猿払村	3,002	571
猿払村	4	286
猿払村	3,002	1,439
猿払村	29,355	6,566
猿払村	29,355	4,838
猿払村	29,355	6,379

## 第3区

(定員3人)

届出番号	1	2	3	4	5
候補者名	渕野 清 (社)	佐藤 孝行 (無)	阿部 文男 (自)	塙田 庄平 (社)	田中 正巳 (自)
市町村名	市 函館市	市 21,731	市 20,668	市 51,763	市 27,734
渡島支庁	市 8,342	市 21,358	市 31,426	市 21,104	市 19,870
桧山支庁	市 4,461	市 11,487	市 10,095	市 7,973	市 8,870
合 計	市 34,534	市 53,513	市 93,284	市 67,983	市 56,474
市 部 計	市 21,731	市 20,668	市 51,763	市 38,906	市 27,734
郡 部 計	市 12,803	市 32,845	市 41,521	市 29,077	市 28,740
渡島支庁	市 845	市 2,327	市 2,122	市 1,142	市 2,734
松前町	市 468	市 908	市 2,472	市 892	市 1,387
福島町	市 141	市 1,059	市 1,031	市 580	市 952
知内町	市 541	市 793	市 1,481	市 1,304	市 1,126
木古内町	市 1,477	市 2,096	市 4,331	市 3,886	市 2,961
上磯町	市 448	市 882	市 1,733	市 1,018	市 1,324
大野町	市 968	市 1,560	市 3,263	市 2,706	市 2,317
七飯町	市 173	市 1,267	市 1,206	市 247	市 389
戸井町	市 179	市 1,341	市 1,526	市 420	市 311
尻屋内町					市 3,777

櫻 法 崩 村	75	191	599	126	340	1,331
南 茅 部 町	221	1,964	2,295	755	674	5,909
鹿 部 町	110	897	823	353	269	2,452
砂 原 町	232	816	1,135	322	702	3,207
森 町	697	1,908	2,979	1,951	1,659	9,194
八 磬 町	876	2,408	3,076	2,824	1,683	10,867
長 万 邦 町	891	941	1,354	2,658	1,042	6,886
渡 島 支 庁 計	8,342	21,358	31,426	21,104	19,870	102,100
桧 山 支 庁						
江 差 町	825	1,592	1,773	2,022	1,466	7,678
上 ノ 国 町	816	1,198	1,223	947	1,128	5,312
厚 沢 町	291	735	748	751	1,769	4,294
乙 部 町	575	1,238	988	521	566	3,888
熊 石 町	231	400	1,021	727	800	3,179
大 成 町	257	1,018	619	279	520	2,693
奥 尾 町	202	1,007	1,081	259	741	3,290
瀬 楠 町	231	894	377	362	612	2,476
北 桧 山 町	507	2,331	554	910	512	4,814
今 金 町	526	1,074	1,711	1,195	756	5,262
桧 山 支 庁 計	4,461	11,486	10,095	7,973	8,870	42,886

## 第4区

(定員5人)

届出番号	候補者名	議員名	1	2	3	4	5	6	7
市町村名	(市)	(公)	(民)	(社)	(共)	(社)	(自)	(社)	(社)
室蘭市	篠田 弘作	野村 光雄	8,060	12,828	12,828	21,678	26,517	2,829	85,924
夕張市	1,210	12,802	1,744	4,686	4,686	512	889	14,171	28,229
岩見沢市	2,280	3,947	11,317	4,819	4,819	1,190	2,592	10,743	39,081
牧瀬川町	4,103	4,517	10,822	6,592	9,665	14,366	1,977	3,373	70,561
豎別町	23,766	3,585	2,965	3,741	2,766	320	1,266	6,947	21,500
平塚市	2,537	3,508	2,722	2,149	2,149	377	1,586	8,038	20,977
赤谷町	1,975	2,665	937	1,880	1,880	262	1,334	6,812	15,885
三滝町	1,323	2,131	1,788	1,739	1,739	259	644	7,321	15,255
砂川市	3,679	3,219	4,229	2,987	2,987	938	3,846	7,871	26,769
歌志内町	1,515	2,082	2,404	1,851	1,851	539	1,519	4,264	14,174
川内町	869	1,138	326	1,165	1,165	147	521	2,771	6,937
川別町	3,862	2,087	3,681	2,560	2,560	4,761	3,343	483	20,777
深川市	1,876	4,602	2,458	4,470	4,470	7,990	6,812	1,180	29,388
登別支厅	2,335	2,684	1,858	2,332	2,332	3,878	4,668	855	18,610
伊達支厅	13,650	8,147	27,264	6,975	6,975	4,786	8,481	12,644	81,947
高胆支厅	10,318	7,025	7,918	5,470	5,470	9,530	6,684	1,736	48,681
胆振支厅	12,154	7,235	8,122	7,663	7,663	12,908	7,177	1,774	57,033
日高支厅	91,037	81,376	95,141	76,005	76,005	84,441	79,856	93,862	601,718
合計	54,915	58,969	51,837	55,897	55,897	57,217	57,514	77,708	414,057
部計	36,122	22,407	43,304	20,108	20,108	27,224	22,342	16,154	187,661
空知支厅	194	174	2,387	137	137	242	135	83	3,352
北村	633	566	2,807	543	543	121	514	1,612	6,796
沢町	584	283	1,639	240	240	46	256	405	3,453
幌南町	1,071	635	1,239	763	763	160	523	1,033	5,424
井川町	583	1,396	590	1,005	1,005	190	385	3,645	7,794
砂仁町	1,109	563	1,860	390	390	126	520	1,156	5,724
沼田町	1,186	619	2,734	685	685	136	1,591	1,234	8,185
栗山町	1,330	1,115	3,796	910	910	197	923	2,239	10,510

形	町	町	224	398	370	243	3,629
月	浦	新	1,164	224	222	248	2,441
	浦	新	494	936	187	126	5,887
	浦	新	228	222	248	126	4,012
	浦	新	1,033	2,128	440	574	2,899
	浦	新	616	440	441	635	2,707
	浦	新	401	837	351	441	2,488
	浦	新	233	917	248	266	4,178
	浦	新	238	659	165	352	2,568
	浦	新	99	1,198	137	263	85
	浦	新	325	1,761	365	498	81,947
	浦	新	759	612	185	554	121
	浦	新	716	716	716	140	49
	浦	新	13,650	8,147	27,264	4,786	12,644
	浦	新	6,975	6,975	6,975	8,481	3,902
	浦	新	81,947	81,947	81,947	81,947	7,155
胆	振	支	序	序	序	序	序
豐	浦	浦	552	572	630	87	3,902
豊	浦	浦	1,357	733	1,187	223	7,155
豊	浦	浦	333	387	1,982	43	1,595
豊	浦	浦	245	212	114	306	1,010
豊	浦	浦	521	375	79	141	2,557
豊	浦	浦	3,183	2,336	467	170	12,750
豊	浦	浦	1,045	1,045	200	485	3,703
豊	浦	浦	378	378	1,045	432	3,270
豊	浦	浦	209	209	1,745	707	4,194
豊	浦	浦	351	351	351	1,458	5,272
豊	浦	浦	1,211	1,211	994	624	3,273
豊	浦	浦	1,191	1,191	1,073	388	48
豊	浦	浦	555	663	593	1,351	48
豊	浦	浦	376	376	392	251	48
豊	浦	浦	10,318	7,025	7,918	762	48
豊	浦	浦	8,122	7,235	5,470	722	48
豊	浦	浦	7,663	7,663	9,530	381	48
豊	浦	浦	12,908	12,908	6,684	92	48
豊	浦	浦	12,908	12,908	1,717	1,717	57,033

北海道議会時報第29巻第1号(昭和51年第4回定例道議会)

## 第5区

(定員5人)

届出番号	候補者名	市町村名	本名	(自)	本名	(共)	みずおち恒彦	中川 一郎	島田 くろう	安田 貴六	みの政市	つつき利夫	9	有効投票
1	岡田 利春	(社)	さわだ征矢	(無)	武	(自)	(無)	(自)	(社)	(自)	(社)	(社)	8	220
1	60,930	9,535	9,392	8,400	13,108	674	4,683	971	27,778	318	157	394	107,913	
2	2,412	1,803	23,546	6,228	12,417	665	875	14,823	20,556	4,337	5,554	75	76,118	
3	1,531	1,058	3,283	3,242	4,941	28,006	895	1,871	48,856	408	112	47	49,909	
4	998	577	2,325	1,756	3,772	8,577	5,596	5,554	1,918	1,713	1,740	165	22,802	
5	687	253	1,885	1,221	3,836	5,866	186	2,466	5,866	88,145	80,345	120	18,273	
6	7,410	1,590	2,558	1,314	12,268	5,657	17,317	48,676	28,495	68,894	32,012	1,093	19,416	
7	2,555	3,663	2,263	1,990	25,807	8,052	3,398	11,495	450	408	36,872	50,616	117,565	
8	20,882	1,900	6,882	6,882	3,271	1,713	7,125	870	80,345	2,051	29,729	958	119,935	
9	10,845	733	41,503	41,503	103,965	40,022	37,254	40,022	103,965	1,093	36,872	50,616	49,699	
10	111,913	21,116	91,217	91,217	22,683	42,989	42,989	42,989	22,683	1,093	36,872	50,616	27,521	
11	73,968	14,816	48,228	48,228	18,320	63,943	63,943	63,943	18,320	1,093	36,872	50,616	609,139	
12	37,945	6,300	48,228	48,228	18,320	63,943	63,943	63,943	18,320	1,093	36,872	50,616	294,431	
13	470	222	406	39	406	406	406	406	406	406	406	406	35	35

西 雄 網	十 音	士 上	鹿 清 新	中 東	忠 大	弘 泰	泰 本	足 陸	浦 十	劍 剣	劍 厚	浜 標	標 弟	阿 鶴	鶴 内	音 鍔	鍔 根	別 中	標	津 海	津 標	津 日	支 計
35	161	2,555	497	14	38	1,314	12,268	5,657	17,317	221	39	253	1,260	1,254	382	299	2	120	10	78	16,034	1,207	
14	38	1,314	251	4,815	4,815	449	1,211	1,095	1,003	15	1,155	1,155	1,003	1,003	101	101	1,367	17	17	4,419	4,350	4,350	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	83	83	8	8	4,804	4,268	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	63	63	18	18	6,124	6,124	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	223	223	30	30	7,893	7,893	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	89	89	45	45	9,520	9,520	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	86	86	53	53	2,370	2,370	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	22	22	5	5	2,354	2,354	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	14	14	14	14	1,459	1,459	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	6	6	6	6	5,269	5,269	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	11	11	11	11	6,613	6,613	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	13	13	13	13	11,367	11,367	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	21	21	21	21	7,494	7,494	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	24	24	24	24	3,792	3,792	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	96	96	133	133	8,365	8,365	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	55	55	55	55	6,350	6,350	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	73	73	142	142	3,831	3,831	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	23	23	23	23	8,032	8,032	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	44	44	113	113	7	7	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	67	67	32	32	2,359	2,359	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	895	895	1,871	1,871	48,856	48,856	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	28,006	28,006	520	520	119,933	119,933	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	345	345	21	21	483	483	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	75	75	367	367	5,367	5,367	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	36	36	36	36	8,542	8,542	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	22	22	22	22	5,039	5,039	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	116	116	403	403	7,320	7,320	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	76	76	435	435	6,883	6,883	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	1,204	1,204	47	47	4,688	4,688	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	112	112	7	7	1,558	1,558	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	602	602	59	59	873	873	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	588	588	121	121	133	133	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	1,195	1,195	450	450	4,050	4,050	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	1,212	1,212	507	507	1,090	1,090	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	522	522	212	212	470	470	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	123	123	378	378	528	528	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	1,032	1,032	28	28	31	31	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	1,125	1,125	7	7	2,200	2,200	
35	161	2,555	251	4,815	1,235	3,313	1,235	1,196	1,196	19	1,196	1,196	1,196	1,196	19	19	1,125	1,125	134	134	49,689	49,689	

第4回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道恩給条例の一部を改正する条例	12. 22	12. 24	北海道条例第65号
北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第66号
北海道収入証紙条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第67号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第68号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第69号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第70号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第71号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第72号
北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第73号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第74号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第75号

## 12月のメモ

- 1 ○国道231号線石狩管内浜益村送毛一昆砂別間の新道完成。
- 3 ○岩内町議会、「原子力発電所の建設に関する決議」（条件付き賛成）を可決。
- 5 ○第34回衆議院議員総選挙投票、新勢力分野決定。自民党249人、社会党123人、公明党55人、民社党29人、共産党17人、新自由クラブ17人、無所属21人（自民追加公認8、公明推薦1、共産推薦・革新共同1、新自由ク推薦2を含む）。道内は、社会党10人、自民党9人、公明党2人、民社党1人。
- 7 ○閣議、「51年度年次世界経済報告」（世界経済白書）を了承。先進国間の分極化現象を克服することが持続的成長を達成する条件。  
○閣議、「51年原子力年報」（原子力白書）を了承。国民の理解・協力を強調。
- 9 ○道、国土利用北海道計画素案をまとめる。森林、原野を転用し、農用地を143万ヘクタールに。
- 10 ○閣議、通信白書（通信に関する現状報告）を了承。ファクシミリ急伸、10年間で10倍増し世界2位に。  
○ソ連、政府機関紙イズベスチア紙に「200海里漁業専管水域に関する幹部会令」を公告。
- 12 ○自治省、50年度地方公営企業決算概要を発表。交通、病院、水道の3事業だけで累積欠損が全体の90%を占める。  
○全国知事会、法人事業税の外形標準課税に係る具体的実施方法に関する試案をまとめる。資本金5億円以上の製造業を対象。
- 13 ○東京地裁、「摂津訴訟」（保育所設置費国庫負担金請求訴訟）で、「児童福祉法の国庫負担規定は、単に抽象的な國の負担義務を定めた規定にすぎない。」とし、摂津市の請求に理由がないとの判決。
- 14 ○札幌地裁、道南バス会社の更生計画案を認可。  
○岐阜県議会、全国で初めて知事不信任決議案を可決。
- 15 ○熊本地裁、水俣病認定申請者410人が沢田熊本県知事を相手とした「不作為の違法確認訴訟」で、県の水俣病認定申請についての不作為が違法であるとし、公害問題で初めて行政責任を認める判決。
- 16 ○環境庁・運輸省、自動車排ガス53年規制の内容を公表。新型車は53年4月、継続生産車は54年3月からそれぞれ実施。
- 17 ○三木首相、退陣表明。  
○OPEC、原油二重価格制で合意。サウジアラビアとアラブ首長国連邦が5%、他の11カ国が10%の引き上げへ。
- 21 ○歳末宝くじの発売をめぐり全国各地で混乱。死者2

名・負傷者25名。

- 22 ○道、新長期計画（仮称・北海道発展計画）の素案をまとめる。純生産12兆円、個人所得188万円を見込む。
- 23 ○自民党、両院議員総会で新総裁に福田赳氏を選出。党三役は、幹事長大平正芳氏、総務会長江崎真澄氏、政調会長河本敏夫氏。
- 24 ○第79臨時国会、召集。衆議院議長保利茂氏、副議長三宅正一氏を選出。福田新内閣発足。外相鳩山威一郎氏、環境庁長官石原慎太郎氏、道開発庁長官小川平二氏。
- 25 ○エジプト航空機、バンコクで墜落。乗客ら56人全員死亡（日本人・7人）。
- 28 ○道労働部、51年度版「北海道労働白書」を発表。雇用政策に優先性が付与されるべきと提起。  
○全国町村議會議長会、「町村議会白書」をまとめる。経費節減などのため議員定数を減らすところが増。
- 30 ○第80通常国会、召集。会期は52年5月28日までの150日間。  
○日本貿易振興会、「50年度のわが国外海外投資の現状」を発表。海外直接投資は前年度比37%増の32億8千万ドルで史上2位。